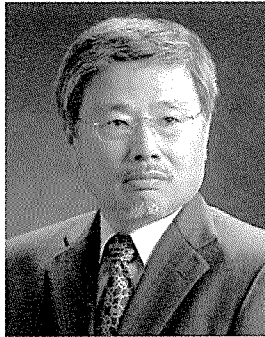


業績目録（山口高弘）

著者	東北大学史料館
号	1133
発行年	2010-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065950

山口高弘教授業績目録

平成22年3月
東北大学史料館
(著作目録第1133号)



山口 高 弘 教 授 略 歴

生年月日	昭和21年10月10日生
本 籍 地	宮城県
職 名	教授
所 属	農学研究科

最終学歴

昭和45年 3 月	東北大学農学部畜産学科卒業
昭和47年 3 月	東北大学大学院農学研究科畜産学専攻修士課程修了
昭和50年 3 月	東北大学大学院農学研究科畜産学専攻博士課程修了

職 歴

昭和50年 4 月	東北大学医学部助手
昭和59年 2 月	米国テキサス大学医学部 Postdoctoral Fellow
昭和61年 2 月	米国テキサス大学医学部 Assistant Professor
昭和62年 2 月	東北大学医学部助手
昭和63年 7 月	東北大学農学部助手
平成 5 年11月	東北大学農学部助教授
平成12年 4 月	東北大学大学院農学研究科教授
平成15年 4 月	東北大学農学部生物生産学科長
平成17年 4 月	東北大学大学院農学研究科応用生命科学専攻長
平成17年 5 月	中国揚州大学客員教授
平成19年 4 月	東北大学大学院農学研究科副研究科長
	東北大学教育研究評議会評議委員
平成22年 3 月	東北大学を定年退職

学 位

昭和50年 3 月 農学博士（東北大学）

受 賞

昭和57年 4 月 第23回日本科学技術映画祭優秀賞「インターフェロンとガン」

昭和59年 2 月 The James W. McLaughlin Fellowship Fund.

The University of Texas Medical Branch.

平成20年 8 月 日本下垂体研究会吉村賞

学会等における活動

日本畜産学会評議員（平成15年～16年）

日本畜産学会代議員（平成16年～17年）

日本畜産学会理事（平成17年～19年）

日本畜産学会代議員（平成19年～21年）

日本獣医学会評議員（平成16年～）

東北畜産学会評議員（平成12年～17年）

東北畜産学会会長（平成17年～19年）

東北畜産学会評議員（平成19年～）

日本下垂体研究会評議員（平成13年～17年）

日本下垂体研究会幹事（平成17年～20年）

日本下垂体研究会評議員（平成20年～）

日本乳房炎研究会幹事長（平成 9 年～15年）

日本乳房炎研究会会長（平成15年～）

日本産肉研究会会長（平成19年～）

社会における活動

大学評価・学位授与機構大学評価委員会評価委員（平成15年～17年）

畜産草地研究所・研究プロジェクト評価委員（平成16年～19年）

文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委員（平成17年～20年）

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業専門評価委員（平成18年～19年）

日本学術振興会・特別研究員等審議会専門員及び国際事業委員会書面審査委員（平成18年～20年）

文部科学省高等教育局海外先端研究実践支援ペーパーレフリー（平成19年）

放牧畜産の基盤作成及び普及推進検討委員会委員（平成19年～20年）

産学官連携共同研究検討会議検討委員（平成19年～）

業 績 目 録

I. 著書・編書

1. 生殖機能の組織学, 哺乳動物の比較組織図譜, (菅原七郎, 安田泰久, 石田一夫, 正木 淳二編集) 山口高弘. 分担執筆 理工学社 (1981)
2. *Excepta Medica. Studies on the induction of IFN- γ production *in vitro* by a streptococcal preparation*, OK-432 (Picibanil), Ebina, T., Saito, M., Aonuma, E., Yamaguchi, T. and Ishida. N. 213-224 (1984).
3. *Probiotics 2: Application and practical aspects; Antimutagenic and antitumour activities of lactic acid bacteria*. A. Hosono, H. Kitazawa, T. Yamaguchi, 89-132. Chapman & Hall, London (1997).
4. *Reproductive Biology Update* (H. Miyamoto and N. Manabe, eds.) Section 4. Yamaguchi T., Ide Y., Sato T., Nara H., Matsuzaki M., Neuronal and hormonal regulation mechanisms in reproductive systems: Heterogeneity and Development of Somatotrophs and Mammothrophs in Domestic Animals. 315-323. Nakanishi Printing Co., Ltd., Kyoto Japan. (1998).
5. 応用生命科学のための生物学入門 (谷口旭, 羽柴輝良監修) 山口高弘. 分担執筆. 第2章. 細胞の機能, 49-92, 第5章-2 動物の生理. 201-211. 培風館 (1998)
6. 反芻動物の栄養生理学 (小原嘉昭編, 佐々木康之監修) 山口高弘. 分担執筆. 第8章 筋芽細胞からの情報, 430-443. 農山漁村文化協会 (1998)
7. 食と生体防御 — 21世紀を生き抜くための健康増進戦略 — (森 勝義編) 山口高弘ら. 分担執筆 第1章 5. 乳牛乳腺の泌乳サイクルと免疫応答111-139. 菜根出版 (1999)
8. 食肉科学の道 — その過去から未来へ — (伊藤肇躬, 鈴木敦士編) 山口高弘, 今中崇博, 奈良英利分担執筆. ウシ骨格筋形成におけるサイトカインの役割, 69-78. ミドリ印刷 (2000)
9. 牛の脳アトラス 岡村裕昭 編, 市丸 徹, 大蔵 聡, 岡村裕昭, 小堤恭平, 斎藤敏之, 根本 鉄, 山岸規昭, 山口高弘 農林水産省畜産試験場 (2001)
10. 応用生命科学のための生物学入門 改訂版 (羽柴輝良, 山口高弘監修) 山口高弘. 分担執筆. 2. 細胞の機能. 1-10, 13-15. 培風館 (2003)
11. 牛の解剖アトラス 第1版 日本獣医解剖学会 監訳, 山口高弘. 分担訳. 第3章. 頭. 30-31. チクサン出版社 (2005)

12. 獣医組織学 第3版. 日本獣医解剖学会編 山口高弘, 渡邊康一. 分担執筆. 第6章 筋組織. 65-75. 学窓社 (2005)
13. 図説 動物形態学. 福田勝洋編著, 山口高弘他共著. 朝倉書店 (2006)
14. “ファイバー”スーパーバイオミメティックス 近未来の新技術創成 山口高弘, 渡邊康一分担執筆. 3.1.1. 動物の動き概論, 84-90. エス・ティール・エス (2006)
15. 獣医組織学 第4版. 日本獣医解剖学会編, 渡邊康一, 山口高弘. 分担執筆. 第6章 筋組織. 69-79. 学窓社 (2008)
16. カラーアトラス獣医解剖学 カラーアトラス獣医解剖学編集委員会/監訳 山口高弘, 渡邊康一分担訳出 第2章. 頭部, 頸部および体幹の筋膜と筋. チクサン出版社 (2008)

II. 調査報告書

1. Final Report of James W. McLaulin Fellowship Fund (University of Texas Medical Branch USA). The Role of Macrophages in Regulating Immune Responses during Murine Cytomegalovirus Infection. Takahiro Yamaguchi, 1-55. (1986).
2. 研究成果報告書, 昭和63-平成元年度科学研究費補助金 (一般研究C) 放射線による免疫賦活化作用: 放射線による癌エフェクター細胞の活性化. 1-42, 山口高弘代表 平成2年3月
3. 食肉に関する助成研究調査成果報告書 (伊藤記念財団研究助成金). MRI (Magnetic Resonance Imaging) での断層画像解析による枝肉品質評価技術の開発. 星野忠彦, 山口高弘, 大和田修一. 鈴木 惇. 第9巻. 160-166, 平成2年度
4. 研究成果報告書, 平成2-3年度科学研究費補助金 (一般研究C), 食糧としての家畜 (牛・豚) 骨格筋の応用に関する基礎的研究. 1-33. 山口高弘代表 平成4年3月
5. 農林水産業特別試験研究費補助金による研究報告書 (平成4-6年度農林水産業特別試験研究費補助金), 牛・培養筋芽細胞による筋線維構築とその機序解明に関する研究. 1-52. 伊達洋司, 山口高弘, 鈴木 惇. 平成7年4月
6. 研究成果報告書, 平成6-7年度科学研究費補助金 (一般研究C), 筋肉内脂肪交雑の形成に関する細胞生物学的解析. 1-44. 山口高弘代表 平成8年3月
7. 食肉に関する助成研究調査成果報告書 (伊藤記念財団研究助成金). 豚の成長, 肥育と下垂体前葉細胞の機能との関係. 山口高弘, 井出陽一. 第14巻. 178-184, 平成7年度

8. 食肉に関する助成研究調査成果報告書（伊藤記念財団研究助成金）．豚の成長，肥育と下垂体前葉細胞機能との関連に関する研究．山口高弘，井出陽一．第15巻．171－176，平成8年度
9. 食肉に関する助成研究調査成果報告書（伊藤記念財団研究助成金）．豚の成長，肥育と下垂体前葉細胞機能との関連に関する研究．山口高弘，井出陽一，佐藤貴弘．第16巻．192－196，平成9年度
10. 研究成果報告書．平成8－9年度科学研究費補助金（基盤研究：B（2））．家畜骨格筋の筋形成促進因子の同定・分離と作用機序の解明．1－64．山口高弘代表 平成10年3月
11. 食肉に関する助成研究調査成果報告書（伊藤記念財団研究助成金）．筋形成過程の骨格筋細胞でのミオシンアイソフォーム発現の制御．山口高弘，今中崇博．第18巻．138－143，平成11年度
12. 食肉に関する助成研究調査成果報告書（伊藤記念財団研究助成金）．筋形成過程の骨格筋細胞でのミオシンアイソフォーム発現の制御．山口高弘，吉澤大輔，今中崇博，奈良英利，渡邊康一．第19巻．116－120，平成12年度
13. 食肉に関する助成研究調査成果報告書（伊藤記念財団研究助成金）．筋形成過程の骨格筋細胞でのミオシンアイソフォーム発現の制御．山口高弘，林 晋一郎，今中崇博，奈良英利，渡邊康一．第20巻．119－123，平成13年度
14. 形態・生理機能の改変による新農林水産生物の創出に関する総合研究（バイオデザイン計画）第Ⅰ期研究報告書（農林水産技術会議）．山口高弘．共焦点レーザー顕微鏡像による酵素蛋白等の有用成分の解析．288－289．平成13年3月．
15. 研究成果報告書．家畜の脳・神経機能の解明と評価に関する基礎的研究（農林水産技術会議）．山口高弘分担 平成14年3月．
17. 研究成果報告書．平成13－15年度科学研究費補助金（基盤研究：B（2））．ウシの摂食調節神経ペプチドのソマトトロフ軸に対する作用機序の解明・分離と作用機序の解明．1－266．山口高弘代表 平成16年3月
18. 研究成果報告書．平成14－16年度科学研究費補助金（基盤研究：B（2））．ウシ筋肉内脂肪細胞の新規な分化遺伝子の特定と脂肪交雑機構の解明．1－266．山口高弘分担 平成17年3月
19. 交付金プロジェクト報告書（平成13－17年度）独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所乳房炎の発生機構の解明と防除技術の開発．山口高弘 乳腺上皮細胞の機能的多様性と感染抵抗性の解明．52－55．平成18年3月
20. 研究成果報告書．平成17－19年度科学研究費補助金（基盤研究：A）．骨格筋形成因子，ミオスタチンの産肉調節作用の全容解明とその産肉性向上への活用．1－321．山口高弘代表 平成20年3月

21. 研究成果報告書. 平成17-19年度科学研究費補助金(基盤研究:B). サブトラクション法による脂肪交雑遺伝子の単離と発現制御機構の解明. 1-254. 山口高弘分担 平成20年3月
22. 研究成果報告書. 平成18-19年度科学研究費補助金(基盤研究:(B)海外学術調査). 東北アジア地域の肉用牛遺伝資源の開発とその活用技術の基盤形成に関する調査研究. 1-130. 山口高弘代表 平成20年3月

Ⅲ. 研究論文

1. Functional morphology of the anterior pituitary gland. I. The cell types and distribution in the anterior pituitary gland of pigs of different sexes and ages. Yamaguchi, T., Hoshino, T. and Tamate, H. Tohoku J. Agri. Res., 24, 41-53 (1973).
2. Functional morphology of the anterior pituitary gland. II. Oxidative enzymes of the anterior pituitary gland in the pig. Yamaguchi, T., Hoshino, T. and Tamate, H. Tohoku J. Agri. Res., 24, 128-137 (1973).
3. 種々の環境下におけるラット下垂体前葉での Growth hormone, Acid phosphatase, Esterase の変動. 山口高弘, 星野忠彦, 玉手英夫. 日畜東北支部会報, 24, 10-11 (1974).
4. A comparative histochemical study on alkaline phosphatase of the anterior pituitary gland in various mammals. Yamaguchi, T., Hoshino, T. and Tamate, H. Tohoku J. Exp. Med., 133, 167-174 (1981).
5. Induction of interferon- γ in mouse spleen cells by OK-432, a preparation of *Streptococcus pyogenes*. Saito, M., Ebina, T., Koi, M., Yamaguchi, T., Kawade, Y. and Ishida, N. Cell. Immunol., 68, 187-192 (1982).
6. Antitumor and interferon-inducing activities of TH69, a whole bacterial preparation of *Streptococcus faecalis*, in mice. Abe, N., Yamaguchi, T., Hoshino, F., Suzuki, F. and Ishida, N. Gann, 73, 811-818 (1982).
7. Time-lapse microcinematographic analysis of the natural cytotoxicity of murine lymphocytes: Morphology of living natural killer (NK) cells. Ebina, T., Yamaguchi, T., Saito, M. and Ishida, N. Microbiol. Immunol., 26, 1095-1099 (1982).
8. Saito, M., Yamaguchi, T., Ebina, T., Koi, M., Aonuma, E., Usami, H. and Ishida, N. In vitro production of immune interferon (IFN γ) by murine spleen cells when different sensitizing antigens are used *in vivo* and *in vitro*. Cell. Immunol., 78, 379-386 (1983).

9. Development of multicellular spheroids of HeLa cells cocultured with fibroblasts and their response to X-irradiation. Sasaki, T., Yamamoto, M., Yamaguchi, T. and Sugiyama, S. *Cancer Res.*, 44, 345-351 (1984).
10. Immune interferon production by TH69, a lyophilized preparation of *Streptococcus faecalis*, in murine spleen cell cultures. Yamaguchi, T., Kuroda, Y., Saito, M., Ebina, T., Hoshino, F. and Ishida, N. *Microbiol. Immunol.*, 28, 601-610 (1984).
11. Participation of macrophages in enhanced *in vitro* immune interferon (IFN γ) production with mouse spleen cells. Yamaguchi, T., Kuroda, Y., Yokoyama, T., Saito, M., Ebina, T., Hoshino, F. and Ishida, N. *Microbiol. Immunol.*, 28, 1031-1040 (1984).
12. Induction of interferon and activation of NK cells and macrophages in mice by oral administration of Ge-132, an organic germanium compound. Aso, H., Suzuki, F., Yamaguchi, T., Hayashi, Y., Ebina, T. and Ishida, N. *Microbiol. Immunol.*, 29, 65-74 (1985).
13. Antimetastatic effect of biological response modifiers in the "double grafted tumor system". Ebina, T., Kohya, H., Yamaguchi, T. and Ishida, N. *Jpn. J. Cancer Res.*, 77, 1034-1042 (1986).
14. Relationship between the production of murine cytomegalo-virus and interferon in macrophages. Yamaguchi, T., Shinagawa, Y. and Pollard, R.B. *J. Gen. Virol.*, 69, 2961-2971 (1988).
15. The "double grafted tumor system" proposed to find effector cells in the analyses of antitumor effects of BRMs. Kohya, H., Ebina, T., Yamaguchi, T. and Ishida, N. *Biotherapy*, 1, 139-151 (1989).
16. A comparative morphometrical analysis of the amount and distribution of fat within muscles of Japanese Black cattle, Japanese Shorthorn, and their cross-bred (F1) steers. Hoshino, T., Suzuki, A., Yamaguchi, T., Ohwada, O. and Ota, M. *Tohoku, J. Agri. Res.*, 40, 57-64 (1990).
17. 豚の肺での Enzootic Pneumonia に伴う抗体産生細胞の分布挙動。紺野芳弘, 山口高弘, 渡辺 明, 星野忠彦. *日畜会報*, 61, 585-590 (1990).
18. Antitumoral activity of slime-forming, encapsulated *Lactococcus lactis* subsp. *cremoris* isolated from Scandinavian røp sour milk, "viili". Kitazawa, H., Toba, T., Itoh, T., Kumano, N., Adachi, S. and Yamaguchi, T. *Anim. Sci. Technol. (Jpn)*, 62, 277-283 (1991).
19. Long-term culture of swine myogenic cells. Yamaguchi, T., Kitazawa, H. and Hoshino, T. *Anim. Sci. Technol. (Jpn)*, 62, 20-627 (1991).

20. Functional alteration of macrophages by a slime-forming *Lactococcus lactis* ssp. *cremoris*. Kitazawa, H., Nomura, M., Itoh, T. and Yamaguchi, T. J. Dairy Sci., 74, 2082-2088 (1991).
21. Induction of macrophage cytotoxicity by slime products produced by encapsulated *Lactococcus lactis* ssp. *cremoris*. Kitazawa, H., Itoh, T. and Yamaguchi, T. Anim. Sci. Technol. (Jpn), 62, 861-866 (1991).
22. Cytochemical characteristics of clonal myogenic cells derived from swine skeletal muscle. Yamaguchi, T. and Hoshino, T. Anim. Sci. Technol. (Jpn), 63, 8-15 (1992).
23. MR 画像 (Magnetic Resonance Imaging) による牛枝肉の脂肪沈着の評価法. 山口高弘, 大和田修一, 米谷定光, 鈴木 惇, 小堤恭平, 吉武 充, 松本 恒, 坂本澄彦, 佐藤晃三, 星野忠彦. 日畜会報, 63, 437-439 (1992).
24. Interferon induction in murine peritoneal macrophage by stimulation with *Lactobacillus acidophilus*. Kitazawa, H., Matsumura, K., Itoh, T. and Yamaguchi, T. Microbiol. Immunol., 36, 311-315 (1992).
25. Regulation of swine myogenic cell differentiation before the onset of fusion. Yamaguchi, T. and Kitazawa, H. Anim. Sci. Technol. (Jpn), 63, 358-367 (1992).
26. MR 画像 (Magnetic Resonance Imaging) による牛枝肉の胸最長筋での脂肪交雑の評価. 山口高弘, 小堤恭平, 大和田修一, 米谷定光, 鈴木 惇, 松本 恒, 坂本澄彦, 八巻邦次, 吉武 充, 佐藤晃三, 星野忠彦. 日畜会報, 63, 942-946 (1992).
27. B-cell mitogenic activity of slime products produced from slime-forming, encapsulated *Lactococcus lactis* ssp. *cremoris*. Kitazawa, H., Yamaguchi, T. and Itoh, T. J. Dairy Sci., 75, 2946-2951 (1992).
28. Cytochemical and biochemical characterization of alkaline phosphatase in swine adenohypophysis. Yamaguchi, T. Tohoku J. Agri. Res., 43, 15-23 (1992).
29. Interferon induction by murine peritoneal macrophage stimulated with *Lactobacillus gasseri*. Matsumura, K., Kitazawa, H., Itoh, T. and Yamaguchi, T. Anim. Sci. Technol. (Jpn), 63, 1157-1159 (1992).
30. B-cell mitogen produced by slime-forming, encapsulated *Lactococcus lactis* ssp. *cremoris* isolated from ropy sour milk, viili. Kitazawa, H., Yamaguchi, T., Miura, M., Saito, T. and Itoh, T. J. Dairy Sci., 76, 1514-1519 (1993).

31. Comparative activity of B-cell mitogen, a phosphopolysaccharide, produced by *L. lactis* ssp. *cremoris* on various lymphocytes. Kitazawa, H., Yamaguchi, T., Fujimoto, Y. and Itoh, T. Anim. Sci. Technol. (Jpn), 64, 605–607 (1993).
32. An analysis of mitogenic response of phosphopolysaccharide, a B-cell mitogen produced by *Lactococcus lactis* ssp. *cremoris*, to spleen cells. Kitazawa, H., Yamaguchi, T., Fujimoto, Y. and Itoh, T. Anim. Sci. Technol. (Jpn), 64, 807–811 (1993).
33. Alkaline phosphatase activity in the gonadotropic cells of swine adeno-hypophysis. Yamaguchi, T. Acta Histochem. Cytochem., 26, 365–371 (1993).
34. Ultracytochemical localization of alkaline phosphatase in Swine gonadotropic cells. Yamaguchi, T. J. Vet. Med. Sci., 56, 529–533 (1994).
35. Expression of mRNA encoding $IFN\alpha$ in macrophages stimulated with *Lactobacillus gasseri*. Kitazawa, H., Tomioka, Y., Matusmura, K., Aso, H., Mizugaki, M., Itoh, T. and Yamaguchi, T. FEMS Microbiol. Letters, 120, 315–322 (1994).
36. A preadipocyte clonal cell line from bovine intramuscular adipose tissue: Nonexpression of GLUT-4 protein during adipose differentiation. Aso, H., Abe, H., Nakajima, I., Ozutsumi, K., Yamaguchi, T., Takamori, Y., Kodama, A., Hoshino, F. B., Takano, S., Biochem. Biophys. Res. Commun., 213, 369–375 (1995).
37. Induction of $INF\gamma$ and $IL-1\alpha$ production in macrophages stimulated with phosphopolysaccharide produced by *Lactococcus lactis* ssp. *cremoris*. Kitazawa, H., Itoh, H., Tomioka, Y., Mizugaki, M. and Yamaguchi, T. Int. J. Food. Microbiol. 31, 99–106 (1996).
38. 乳房炎牛の乳頭粘膜における IgA 陽性細胞の分布. 平塚雅之, 山口高弘, 青柳恒夫, 鈴木 惇. 日獣会誌. 49, 729–731 (1996).
39. Influence of prostaglandin E2 on chick myoblast differentiation during the myogenesis. Nishida, H., Yamaguchi, T., Sato, K., Ohtsu, H. and Akiba, Y. Anim. Sci. Technol. 68; 381–384 (1997).
40. Adipose tissue extracellular matrix: newly organized by adipocytes during differentiation. Nakajima I., Yamaguchi T., Ozutsumi K. and Aso H. Differentiation, 63, 193–200 (1998).
41. Variation in $CD4^+$ T and $CD8^+$ T lymphocyte subpopulations in bovine mammary gland secretions during lactating and non-lactating periods. Asai K., Kai K., Rikiishi H., Sugawara S., Maruyama Y., Yamaguchi T., Ohta M. and Kumagai K. Vet. Immunol. Immunopathol., 65, 51–61 (1998).

42. Differentiation of mammosomatotrophs in swine aderohypophysis. Yamaguchi T., Ide Y., Sato T., Satoh T., and Matsuzaki M. *Acta Histochem. Cytochem.*, 32, 315–320 (1999).
43. Differential distribution of T lymphocyte subpopulations in the bovine mammary gland during lactation. Yamaguchi T., Hiratsuka M., Asai K., Kai K. and Kumagai K. *J. Dairy Sci.*, 82, 1459–1464 (1999).
44. Somatotrophs and mammotrophs in adenoypophysis of Japanese Black Steers: an immurohistochemical and morphological study. Sato T., Yamaguchi T., Matsuzaki M. and Suzuki A. *Anim. Sci. J.*, 70, 329–335 (1999).
45. Mammosomatotrophs of develop within mammotroph clusters in bovine adenoypophysis. Sato T., Yamaguchi T., Matsuzaki M., Satoh T. and Suzuki A. *Tissue & Cell*, 31, 356–402 (1999).
46. Enhanced expression of acetylcholinesterase activity in bovine satellite cells treated with insulin-like growth factor I. Nara H., Imanaka T. and Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 71, 63–70 (2000) .
47. A Phenotype of mammary intra-epithelial lymphocytes (mIEL) in cows. Yamaguchi T., Hiratsuka M., Asai K. and Kumagai K. *Acta Histochem. Cytochem.*, 33, 11–15 (2000).
48. Predominant subpopulations of T lymphocytes in the mammry gland sections during lactation and intraepithelial T lymphocytes in the intestine of dairy cows. Asai K., Komine Y., Kozutsumi T., Yamaguchi T., Komine K. and Kumagai K. *Vet. Immunol. Immunopathol.*, 73, 233–240 (2000).
49. AT oligonucleotides inducing B lymphocyte activation exist in probiotic *Lactobacillus gasseri*. Kitazawa H., Ueha S., Itoh S., Watanabe H., Konno K., Kawai Y., Saito T., Itoh T. and Yamaguchi T. *Int. J. Food Microbiol.*, 65, 149–162 (2001).
50. Neutrophil ptoteinase 3-mediated induction of bioactive IL-18 serection by human oral epithelial cells. Sugawara, S., Uehara, A., Nochi T., Yamaguchi T., Ueda, H., Sugiyama A., Hanzawa K., Kumagai K., Okumura H. and Takeda H. *J. Immunol.*, 167, 6568–6575 (2001).
51. Effects of restricted concentrate feeding during the early growing phase on growth performance, carcass characteristics and the somatotrophic axis in Holstein steers. Matsuzaki M., Sato T., Shiba N., Hara S., Tsuneishi E. and Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 72, 483–493 (2001).
52. Bovine myoblast differentiation during the myogenesis. Nara H., Yoshizawa D., Aso H., and Yamaguchi T. *Asian-Australasian J. Anim. Sci.*, 14 (Special Issue), 100–105 (2001).

53. Pulsatile growth hormone secretion, circulating insulin-like growth factor-1 concentration and cellular density of somatotrophs between Wagyu and Holstein steers. Matsuzaki M., Sato T., Morita S., Shiba N., Tsuneishi E., Hara S., Ozutsumi K. and Yamaguchi T. *Anim. Sci.*, 73, 425-432 (2001).
54. Immunohistochemical localization of rhamnose-binding lectins in the steelhead trout (*Oncorhynchus mykiss*). Tateno H., Yamaguchi T., Ogawa T., Muramoto K., Watanabe T., Kamiya H. and Saneyoshi M. *Develop. Comp. Immunol.*, 26, 543-550 (2002).
55. Constitutive expression of a bacterial pattern recognition receptor, CD14, in human salivary glands and secretion as a soluble form in saliva. Uehara A., Sugawara S., Watanabe K., Echigo S., Sato M., Yamaguchi T. and Takeda H. *Clin. Diag. Lab. Immunol.*, 10, 286-292 (2003).
56. Immunohistochemical detection of pituitary transcription factor-1 in paraffin sections of bovine adenohypophysis after wet heat-induced antigen retrieval. Matsuzaki M., Sato T., Watanabe K., Shiba N., Tsuneishi E., and Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 74, 137-143 (2003).
57. Expression of IL-2 receptor beta and gamma chains by human gingival fibroblasts and up-regulation of adhesion molecules on neutrophils, in response to IL-2. Ozawa A., Tada H., Tamai R., Uehara A., Watanabe K., Yamaguchi T., Shimauchi H., Takada H. and Sugawara S. *J. Leukocyte Biol.*, 74, 352-359 (2003).
58. Differential characteristics of microfold cells on the dome epithelium of porcine ileum. Kido T., Ohwada S., Watanabe K., Aso H. and Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 74, 375-382 (2003).
59. Inflammatory responses of bovine polymorphonuclear neutrophils induced by staphylococcal enterotoxin C via stimulation of mononuclear cells. Kuroishi T., Komine K., Asai K., Kobayashi J., Watanabe K., Yamaguchi T., Kamata S. and Kumagai K. *Clin. Diag. Lab. Immunol.*, 10, 1011-1018 (2003).
60. Differential gene expression of cytokine and cell surface molecules in T cell subpopulation derived from mammary gland secretion of cows. Asai K., Yamaguchi T., Kuroishi T., Komine Y., Kai K., Komine K. and Kumagai K. *Am. J. Rep. Immunol.*, 50, 453-462 (2003).
61. Induction of nitric oxide production mediated by tumor necrosis factor alpha on staphylococcal enterotoxin C-stimulated bovine mammary gland cells. Komine K., Kuroishi T., Komine Y., Watanabe K., Kobayashi J., Yamaguchi T., Kamata S. and Kumagai K. *Clin. Diag. Lab. Immunol.*, 11, 203-210 (2004).

62. Cloning and expression of type XII collagen isoforms during bovine adipogenesis. Tahara K., Aso H., Yamasaki T., Rose MT., Takasuga A., Sugimoto Y., Yamaguchi T., Takano S. *Differentiation*, 72, 113–122 (2004).
63. 初乳形成に向けた乾乳期乳腺免疫機構の変動とラクトフェリンの関与. 小峯優美子, 小峯健一, 貝 健三, 板橋昌志, 植松正巳, 木舩厚恭, 小林 仁, 山口高弘, 熊谷勝男. *日畜会報*, 75, 205–212 (2004).
64. The profile of gene expression during bovine adipogenesis: Cloning and expression of type XII collagen isoforms. Aso H., Tahara K., Yamasaki T., Rose M. T., Kido T., Minashima T., Miyazawa K., Hayashi S., Sanosaka M., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. *J. Anim. Feed Sci.*, 13, 369–372 (2004).
65. Sequence of IGF-I, IGF-II, and HGF expression in regenerating skeletal muscle. Hayashi S., Aso H., Watanabe K., Nara H., Rose M. T., Ohwada S. and Yamaguchi T. *Histochem. Cell Biol.*, 122, 427–434 (2004).
66. Bovine Myoblast Differentiation. Watanabe K., Hayashi S., Nara H., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. *Tohoku J. Agri. Res.*, 55, 63–73 (2004).
67. Biological role of Ep-CAM in the physical interaction between epithelial cells and lymphocytes in intestinal epithelium. Nochi T., Yuki Y., Terahara K., Hino A., Kunisawa J., Kweon M.-N., Yamaguchi T. and Kiyono H. *Clin. Immunol.*, 113, 221–353 (2004).
68. Kinetics and distribution of bovine $\gamma\delta$ T-lymphocyte in the intestine: $\gamma\delta$ T cells accumulate in the dome region of Peyer's patch during prenatal development. Yasuda M., Ogawa T., Nasu T., Yamaguchi T. and Murakami T. *Develop. Comp. Immunol.*, 29, 555–564 (2005).
69. Toll-like receptor 9 is expressed on follicle-associated epithelia containing M cells in swine Peyer's patches. Shimosato, T., Tohno, M., Kitazawa H., Katoh, S., Watanabe, K., Kawai, Y., Aso, H., Yamaguchi, T., and Saito, T. *Immunol. Lett.*, 98, 83–89 (2005).
70. Toll-like receptor 2 is expressed on the intestinal M cells in swine. Tohno M., Shimosato T., Katoh S., Iliev I.D., Kimura T., Kawai Y., Watanabe K., Aso H., Yamaguchi T. and Saito T. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 330, 547–554 (2005).
71. Localization of Interleukin-18 and its receptor in somatotrophs of the bovine anterior pituitary gland. Nagai Y., Nochi T., Watanabe K., Watanabe Keisuke, Aso H., Kitazawa H., Matsuzaki M., Ohwada S. and Yamaguchi T. *Cell Tissue Res.*, 322, 455–462 (2005).

72. Comparison of T cell subsets between somatic cloned and normal cow. Tanaka S., Miyazawa K., Watanabe K., Ohwada S., Aso H., Yonai M., Saito N. and Yamaguchi T. *Am. J. Rep. Immunol.*, 55, 28–35 (2006).
73. Cellular localization of IL-18 and IL-18 receptor in pig anterior pituitary gland. Nagai Y., Watanabe K., Aso H., Ohwada S., Muneta Y. and Yamaguchi T. *Domestic Anim. Endocrinol.*, 30, 144–154 (2006).
74. Apoptotic process of porcine intestinal M cells. Miyazawa K., Aso H., Kanaya T., Kido T., Minashima T., Watanabe K., Ohwada S., Kitazawa H., Rose M. T., Tahara K., Yamasaki T. and Yamaguchi T. *Cell Tissue Res.*, 323, 425–432 (2006).
75. Expression and glycosylation with polylectosamine of CD44 antigen on macrophages during follicular atresia in pig ovaries. Miyake Y., Matsumoto H., Yokoo M., Miyazawa K., Kimura N., Sri Tunjung W. A., Shimizu T., Sasada H., Aso H., Yamaguchi T. and Sato E. *Biol. Reproduction*, 74, 501–510 (2006).
76. Nephrocalcinosis formation by soy isoflavones in male rats. Satoh T., Yamakoshi J., Saito M., Izumi T., Matsuyama A., Kikuchi M. and Yamaguchi T. *J. Agr. Food Chem.*, 54, 5659–5663 (2006).
77. 日本短角種DM牛の初期発育様相. 小梨 茂, 佐藤洋一, 鈴木暁之, 渡邊康一, 林 晋一郎, 長谷川喜久, 大池裕治, 谷藤隆志, 吉川恵郷, 西田 朗, 山口高弘. *東北畜会報*, 56, 39–45 (2006).
78. Identification of dendritic cells from bovine peripheral blood. Miyazawa K., Aso H., Honda M., Watanabe K., Ohwada S., Rose M.T. and Yamaguchi T. *Res. Vet. Sci.*, 81, 40–45 (2006).
79. Does elastin contribute to the persistence of corpora albicantia in the ovary of the common dolphin (*Delphinus delphis*). Takahashi Y., Ohwada S., Watanabe K., Ropert-Coudert Y., Zenitani R., Naito Y. and Yamaguchi T. *Marine Mammal Sci.*, 22, 819–830 (2006).
80. Toll-like receptor 2 and 9 are expressed and functional in gut-associated lymphoid tissues of presuckling newborn swine. Tohno M., Shimosato T., Moue M., Aso H., Watanabe K., Kawai Y., Yamaguchi T., Saito T. and Kitazawa H. *Vet. Res.*, 37, 791–812 (2006).
81. Immunohistochemical characterization of cell types expressing the cellular prion protein in the small intestine of cattle and mice. Miyazawa K., Kanaya T., Tanaka S., Takakura I., Watanabe K., Ohwada S., Kitazawa H., Rose M. T., Sakaguchi S., Katamine S., Yamaguchi T. and Aso H. *Histochem. Cell Biol.*, 127, 291–301 (2007).

82. Staining patterns for actin and villin distinguish M cells in bovine follicle-associated epithelium. Kanaya T, Aso H, Miyazawa K, Kido T, Minashima T, Watanabe K, Ohwada S, Kitazawa H, Rose MT. and Yamaguchi T. Res. Vet. Sci., 82, 141–149 (2007).
83. 黒毛和種体細胞クローン牛の末梢血におけるT細胞サブセットの解析. 田中沙智, 宮澤光太郎, 永井康裕, 桑野敦子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 西田 茂, 児玉英樹, 吉川恵郷, 笠井幸治, 山口高弘. 東北畜会報, 57, 13–18 (2007).
84. Differential cytokine gene expression in CD4⁺ and CD8⁺ T cell subsets of calves. Tanaka S., Aso H., Miyazawa K., Nagai Y., Watanabe K., Ohwada S., Kobayashi J. and Yamaguchi T. Vet. Immunol. Immunopathol., 118, 84–91 (2007).
85. Three-dimensional observation of connective tissue of bovine masseter muscle under concentrate- and roughage-fed conditions by using immunohistochemical/ confocal laser-scanning microscopic methods. Nakamura Y. – N., Iwamoto H., Etoh T., Shiotsuka Y., Yamaguchi T., Ono Y., Tabata S., Nishimura S. and Gotoh T. J. Food Sci., 72, E375–E381 (2007).
86. Three-dimensional reconstruction of intramuscular collagen networks of bovine muscle: A demonstration by an immunohistochemical/confocal laser-scanning microscopic method. Nakamura Y., Iwamoto H., Yamaguchi T., Ono Y., Nakanishi Y., Tabata S., Nishimura S. and Gotoh T. Anim. Sci. J., 78, 445–447 (2007).
87. Myostatin and MyoD family expression in skeletal muscle of IGF-1 knockout mice. Miyake M., Hayashi S., Taketa Y., Watanabe K., Hayashi S, Sato T., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. Cell Biol. International, 31, 1274–1279 (2007).
88. A combination of octanoate and oleate promotes *in vitro* differentiation of porcine intramuscular adipocytes. Sanosaka M., Minashima T., Suzuki K., Watanabe K., Ohwada S., Hagino A., Rose M. T., Yamaguchi T. and Aso H. Comp. Biochem. Physiol. Part B: Biochemistry and Molecular Biology, 149, 285–292 (2008).
89. Differentiation of a murine intestinal epithelial cell line (MIE) towards the M cell lineage. Kanaya T., Miyazawa K., Takakura I., Itani W., Watanabe K., Ohwada S., Kitazawa H., Rose M.T., McConochie H.R., Okano H., Yamaguchi T. and Aso H. Am. J. Physiol., Gastrointestinal and Liver Physiol., 295, 273–284 (2008).

90. Age-related changes in leukocytes and T cell subsets in peripheral blood of Japanese Black cattle. Tanaka S., Miyazawa K., Kuwano A., Watanabe K., Ohwada S., Aso H., Nishida S., Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 79, 368–374 (2008).
91. Differential expression of myostatin and its receptor in the porcine anterior pituitary gland. Taketa Y., Nagai Y., Ogasawara H., Hayashi S., Miyake M., Tanaka S., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 79, 382–390 (2008).
92. Localization of leptin and leptin receptor in the bovine adenohypophysis. Ogasawara H., Ohwada S., Nagai Y., Taketa Y., Matsuzaki M., Tanaka S., Watanabe K., Aso H. and Yamaguchi T. *Domestic Anim. Endocrinol.*, 35, 8–15 (2008).
93. Expression of inflammatory related factors in porcine anterior pituitary derived cell line. Nagai Y., Ogasawara H., Taketa Y., Aso H., Watanabe K., Ohwada S., Muneta Y. and Yamaguchi T. *Vet. Immunol. Immunopathol.*, 124, 201–208, (2008).
94. Bovine anterior pituitary progenitor cell line expresses IL-18 and IL-18 Rs. Nagai Y., Ogasawara H., Aso H., Taketa Y., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. *J. Neuroendocrinol.*, 20, 1233–1241, (2008).
95. Presence of neuropeptide Y in somatotrophs of cattle. Ogasawara H., Aso H., Nagai Y., Matumoto K., Okumura H., Tanaka S., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. *Domestic Anim. Endocrinol.*, 35, 274–280 (2008).
96. Differential cytokine expression in T cell subsets from bovine peripheral blood. Tanaka S., Nagai Y., Noguchi Y., Miyake M., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. *Anim. Sci. J.*, 79, 597–604 (2008).
97. Myostatin preferentially down-regulates the expression of fast 2x myosin heavy chain in cattle. Hayashi S., Miyake M., Watanabe K., Aso H., Hayashi S., Ohwada S. and Yamaguchi T. *Proc. Jpn. Acad., Ser. B*, 84, 354–362 (2008).
98. Anterior pituitary progenitor cells express costimulatory molecule 4Ig-B7-H3. Nagai Y., Aso H., Ogasawara H., Tanaka S., Taketa Y., Watanabe K., Ohwada S., Rose M. T., Kitazawa H. and Yamaguchi T. *J. Immunol.*, 181, 6073–6081 (2008).
99. Expression of inflammatory related factors in porcine anterior pituitary derived cell line. Nagai Y., Ogasawara H., Aso H., Tateta Y., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. *Vet. Immunol. Immunopathol.*, 124, 201–208 (2008).

100. Differential responses between monocytes and monocyte-derived macrophages for lipopolysaccharide stimulation of calves. Guo Y., Zhao G., Huo Y., Tanaka S. and Yamaguchi T. Cell. Mol. Immunol., 6, 223-229 (2009).
101. Expression of hyaluronan synthase 1 and distribution of hyaluronan during follicular atresia in pig ovaries. Miyake Y., Sakurai M., Tanaka S., Tunjung W. A. S., Yokoo M., Matsumono H., Aso H., Yamaguchi T. and Sato E. Biol. Reprod., 80, 249-257 (2009)
102. The TLR expression pattern on monocyte-derived macrophages for lipopolysaccharide stimulation of calves. Guo Y., Zhao G., Tanaka S., Aso H. and Yamaguchi T. Agr. Sci. China, 8, 101-105 (2009).
103. Muscle type-specific effect of myostatin deficiency on myogenic regulatory factor expression in adult double-muscled Japanese Shorthorn cattle. Muroya S., Watanabe K., Hayashi Shinichiro, Miyake M., Konashi S., Sato Y., Takahashi M., Kawahata S., Yoshikawa Y., Aso H., Chikuni K. and Yamaguchi T. Anim. Sci. J., 80, 678-685 (2009).
104. Characterization of newly established bovine intestinal epithelial cell line. Kohtaro M., Tetsuya H., Takashi K., Sachi T., Ikuro T., Wataru I., Michael T. Rose, Haruki K., Takahiro Y., Hisashi A, Histochem Cell Biol. 133 : 125-134 (2010).
105. Myostatin down-regulates the IGF-2 expression via ALK-Smad signaling during myogenesis in cattle. Miyake M., Hayashi S., Taketa Y., Iwasaki S., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. Anim. Sci. J., in press, (2010).

IV. 研究成果発表

国際会議・学会

i) 講演

1. Studies on the induction of IFN- γ production *in vitro* by a streptococcal preparation, OK-432 (picibanil). T. Ebina, M. Saito, E. Aonuma, T. Noda, T. Yamaguchi and N. Ishida. Intenational symposium at the 13th International Congress of Chemotherapy. 1983. Vienna, Austria.
2. Differentiation and cytochemical characteristics of bovine myogenic cells. Yamaguchi, T., Ozutsumi, K., Aso, H. and Yoshitake, M. Prpceedings of the 23rd United States-Japan National Resources Protein Panel Meeting (UJNR : 第23回天然資源の開発利用に関する日米合同会議, 蛋白質資源専門部会). Y1-17. 1994. Hawaii, USA.

3. Relationships between meat quality determined by physical, chemical and morphological analyses and carcass grades of Japanese beef. Ozutsumi, K., Aso, H., Yamaguchi, T., Tsujimoto, K., Kawai, S., Yuuki, H., Mori, Y., Fujii, T. and Powell, V. Proceedings of the 23rd United States-Japan National Resources Protein Panel Meeting (UJNR : 第23回天然資源の開発利用に関する日米合同会議, 蛋白質資源専門部会). L1-11. 1994, Hawaii, USA.
4. Bovine myoblast differentiation during the myogenesis. Nara, H., Yoshizawa, D., Aso, H., Yamaguchi, T. International Symposium on New Challenges for Animal Science in a New Century. Symposium Workshop. Asian-Aust. J. Anim. Sci., 14. Special Issue. 100-105. 2001. 12, Sendai, Japan.
5. Double muscling in Japanese shorthorn cattle. Watanabe, K., Yamaguchi, T. "Recent Advances in Animal Science in the AAAP region" Editorial Meeting for the Book of the History of AAAP. Symposium Workshop. 2005. 4, Sendai, Japan.
6. The winding road to candidate genes for marbling. Aso, H., Tahara, K., Yamasaki, T., Minashima, T., Sanosaka, M., Miyazawa, K., Hayashi, S., Kanaya, T., Watanabe, K., Ohwada, S., Yamaguchi, T. Joint symposium of 2nd IS-AS and 3rd IS-IFS: International symposium on recent advances in animal science session. Symposium Workshop. 2005. 11, Sendai, Japan.

ii) 一般発表

1. *Streptococcus faecalis* as a bacterial immunostimulant. T. Yamaguchi, F. Hoshino, H. Aso, T. Ebina and N. Ishida. The 12th International Congress of Chemotherapy. 1981, Florence, Italy. (Poster)
2. Induction of interferon and augmentation of NK activity by a novel organogermanium compound, Ge-132. H. Aso, T. Yamaguchi, T. Ebina and N. Ishida. The 12th International Congress of Chemotherapy. 1981, Florence, Italy. (Poster)
3. Interferon induction and augmentation of natural killer cell activity by immunopotentiators. T. Ebina, H. Aso, T. Yamaguchi and N. Ishida. The 5th International Congress of Virology. 1981, Strasbourg, France. (Poster)
4. Relation between interferon production and virus replication of mouse cytomegalovirus-infected macrophages. R.B. Pollard and T. Yamaguchi. American Society for Microbiology, 85th Annual Meeting. 1985, Las Vegas, Nevada, USA (Oral)

5. Riplication of murine cytomegarovirus in differentially stmlulated macrophages. T. Yamaguchi and R.B. Pollard. American Society for Microbiology, 85th Annual Meeting. 1985, Las Vegas, Nevada, USA (Poster)
6. Susceptibility of macrophage precursors to murine cytomegalovirus (MCMV) infection. Y. Shinagawa, T. Yamaguchi and R. B. Pollard. American Society for Microbiology, 86th Annual Meeting. 1986, Washington, D.C., USA (Poster)
7. Comparison of interferon α/β and γ on the inhibition of cytomegalovirus (CMV) replication in macrophages. T. Yamaguchi, Y. Shinagawa and R.B. Pollard. American Society for Microbiology, 86th Annual Meeting. 1986, Washington, D.C., USA (Poster)
8. Alterations in immune functions following acute infection with murine cytomegalovirus (MCMV). T. Yamaguchi, Y. Shinagawa and R.B. Pollard. Federation of American Societies for Experimental Biology, 70th Annual Meeting. 1986, St. Louis, Missouri, USA (Poster)
9. Environmental influences upon bovine muscle differentiation *in vitro*. Yamaguchi, T., Ozutsumi, K., Nishida, H., Aso, H., Watanabe, K., Ohwada, S. and Suzuki, A. The 8th AAAP Amin. Sci. Congress. Vol.2. 566–567. 1996.10. Tokyo, Japan. (Poster)
10. Effects of growth factors on bovine myogenesis *in vitro*. Yamaguchi, T., Kitazawa, K., Nishida, H., Ohtsu, H., Ozushumi, K., Aso, H., Watanabe, K. and Suzuki, A. The 43th International Congress of Meat Science and Technology. Congress Proceedings. 354–355. 1997.7. Auckland, New Zealand. (Poster)
11. Distribution of T cell subsets and B cells in bovine mammary glands. Yamaguchi, T., Hiratuka, M., Kai, K., Asai, K., Ohta, M. and Kumagai, K., The 8th World Conference on Animal Production. Proceedings. Vol.1. 94–95. 1998. Seoul, Korea. (Oral)
12. Characteristics of somatotropic axis in Wagyu. Matsuzaki M., Sato T., Morita S., Shiba E., Tsuneishi E., Hara S., Ozutsumi K. and Yamaguchi T. 3rd International Conference on Farm Animal Endocrinology. Biotechnology, Agronomy Society and Environment 1998.12, Brussels, Belgium. (Oral)
13. Aso H., Nomura M., M. T. Rose, Ozutsumi K., Yonekura S., Hagino A., Obara Y. and Yamaguchi T. Pericytes are adipocyte precursors. American Society for Cell Biology. 38th Annual Meeting. 1998.12. Washington, D.C., USA (Poster)

14. The role of collagens for intramuscular adipose development. Nakajima I., Yamaguchi T., Muroya S., Tanabe R. and Chikuni K. 45th International Congress of Meat Science and Technology. 1999.8, Yokohama, Japan (Poster)
15. Aso H., Nomura M., Rose M.T., Ozutsumi K. and Yamaguchi T. A monoclonal antibody (12H) against a bovine intramuscular preadipocyte (BIP) cell line. International Workshop on Embryogenesis and Implantation. 1999. Hawaii USA (Poster)
16. A monoclonal antibody (12H) against preadipocytes recognizes microvascular pricytes. Aso, H., Nomura, M., Rose, M. T., Ozutsumi, K., Yomekura, S., Hagino, A., Obara, Y., Takano, S. and Yamaguchi, T. IX International Symposium on Ruminant Physiology. J. Anim. Sci. 29; Special Symposium Issue. 200–201. 1999. Pretoria, South Africa. (Oral)
17. Ultracytochemical localization of galanin in corticotrophs. Sato T., Horiguchi E., Satoh T. and Yamaguchi T. The 11th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry. 2000.9, York, United Kingdom. (Poster)
18. Functional heterogeneity of mammary epithelial cells in cows. Nochi T. and Yamaguchi T. Pacioc Congress on Milk Quality and Mastitis Control. 2000. 11, Nagano, Japan. (Poster)
19. Kinetics of cytokine production in mammary gland of dairy cows during lactation cycle. Yamaguchi T. and Nochi T. Pacioc Congress on Milk Quality and Mastitis Control. 2000.11, Nagano, Japan. (Poster)
20. Characteristics and *in vitro* proliferation of muscle-derived cells from rainbow trout. Nakano, T., Sato H., Yamaguchi T., Nara H., Watanabe K., Yamaguchi T. and Sato M. The 5th JSPS–DGHE International Seminar on Fisheries Science in Tropical Area. "Empowerment of Marine Healthy Foods and Nutraceuticals Strengthening the Asian Region". 2002.8, Bogor, Indonesia. (Oral)
21. Type XII collagen is newly organized during bovine adipogenesis. Aso H., Tahara K., Nagaishi., Saito T., Kido T., Yamaguchi T and Takano S. The 12th International Conference of the International Society of Differentiation. 2002. 9, Lyon, France. (Oral)
22. Galanin Expression in ACTH Cells of Bovine Adenohypophysis. Yamaguchi T., Sato T., Matsuzaki M., Watanabe K., Ohwada S. and Aso H. The American Society for Cell Biology. 42nd Annual Meeting, 2002.12, San Francisco, USA. (Poster)

23. An A-2 type of collagen XII is newly organized during bovine adipogenesis. Aso H., Tahara K., Yamasaki T., Nagaishi., Saito T., Kido T., Minashima K., Hayashi S., Yamaguchi T and Takano S. American Society for Cell Biology. 42nd Annual Meeting, 2002.12, San Francisco, USA. (Poster)
24. Generation of novel monoclonal antibody with the speciocity for the mature stage of intestinal epithelial cells. Nochi T., Yuki Y., Yamaguchi T., Aso H., Kweon MN. and Kiyono H. American Association of Immunologists. 90th Annual Meeting. 2003.5, Denver, USA. (Poster)
25. Type XII collagen is associated with bovine adipogenesis. Aso H., Tahara K., Hayashi S., Minashima T., Yamasaki T., Takano S. and Yamaguchi T. The 18th International Diabetes Federation Congress. 2003.8, Paris, France (Oral)
26. Celluar localization of orexin receptor (OXRs) in bovine adenohypophysis. The American Society for Cell Biology. 43rd Annual Meeting, 2003.12, San Francisco, USA. (Poster)
27. Myostatin regulates MyHC isoform expression during myogeni differentiation of myostatin deficient myoblasts. Hayashi H., Aso H., Miura Y., Hayashi S., Chikuni K., Suzuki T. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 43rd Annual Meeting, 2003.12, San Francisco, USA. (Poster)
28. Phenotypes of dendritic cell in bovine peripheral blood and lymphoid organs. Miyazawa K., Honda M., Kobayashi J., Watanabe K., Ohwada S., Aso H., Davis WC. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 43rd Annual Meeting, 2003.12, San Francisco, USA. (Poster)
29. Pluripotency of a clonal porcine intestinal epitheliocyte (PIE). Kido T., Aso H., Miyazawa K., Ohwada S., Watanabe K. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 43rd Annual Meeting, 2003.12, San Francisco, USA. (Poster)
30. Serotonin plays a principal role in adipogenesis. Aso H., Tahara K., Yamasaki T., Minashima T., Kido T., Hayashi S., Miyazawa K., Watanabe K., Ohwada S., Yamaguchi T. and Takano S. American Society for Cell Biology. 43rd Annual Meeting, 2003.12, San Francisco, USA. (Poster)
31. Chondrogenic differentiation of BIP cells following by the expression of annexin A2. Minashima T., Aso H., Tahara K., Yamasaki T., Takano S., Ohwada S., Watanabe K. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 43rd Annual Meeting. 2003.12, San Francisco, USA. (Poster)
32. Cellular communication between intestinal epithelial cells (IECs) and intraepithelial lymphocytes (IELs). Nochi T., Yuki Y., Terahara K., Hino A., Kweon MM., Yamaguchi T. and Kiyono H. The 12th International Congress of Immunology, 4th Annual Conference of FOCIS. 2004.7, Montreal, Canada. (Poster)

33. Role of Ep-CAM as a key cellular interaction molecule between intestinal epithelial cells (IECs) and intraepithelial lymphocytes (IELs). Nochi T., Yuki Y., Terahara K., Hino A., Kweon MM., Yamaguchi T. and Kiyono H. 2004 KOSEF-JSPS Asian Science Seminar. 2004.10, Seoul, Korea. (Poster)
34. Localization of Interleukin-18 and its receptor in somatotrophs of bovine anterior pituitary gland. Nagai Y., Watanabe K., Aso H., Ohwada S. and Yamaguchi T. ADSA-ASAS-CSAS 2005 Joint Annual Meeting. 2005.7, Cincinnati, USA. (Oral)
35. Myostatin regulates MyHC isoform expression during myoblast differentiation in cattle. Hayashi S., Watanabe K., Miura Y., Hayashi S., Miyake M., Aso H., Ohwada S. and Yamaguchi T. ADSA-ASAS-CSAS Joint Annual Meeting. 2005.7, Cincinnati, USA. (Oral)
36. Cytokine expression of T cell subsets in bovine peripheral blood. Tanaka S., Miyazawa K., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. ADSA-ASAS-CSAS Joint Annual Meeting. 2005.7, Cincinnati, USA. (Oral)
37. The process of porcine M cell differentiation within the follicle-associated epithelium. Miyazawa K., Aso H., Kanaya T., Kido T., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. ADSA-ASAS-CSAS Joint Annual Meeting. 2005.7, Cincinnati, USA. (Oral)
38. An established murine intestinal epitheliocyte (MIE) cell line. Kanaya T., Aso H., Miyazawa K., Minashima T., Kido T., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. Joint symposium of 2nd IS-AS and 3rd IS-IFS: International symposium on recent advances in animal science session. 2005.11, Sendai, Japan. (Poster)
39. Calcification needs the release of ANX II as well as ANX V from chondrocytes. Minashima T., Aso H., Yamasaki T., Ohwada S., Watanabe K. and Yamaguchi T. Joint symposium of 2nd IS-AS and 3rd IS-IFS: International symposium on recent advances in animal science session. 2005.11, Sendai, Japan. (Poster)
40. The Characteristics of an Established Clonal Murine Intestinal Epitheliocyte (MIE). Kanaya T., Aso H., Miyazawa K., Minashima T., Kido T., Tahara K., Yamasaki T., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 45th Annual Meeting. 2005.12, San Francisco, USA. (Poster)
41. Localization of Annexin II and V during Chondrogenesis and Calcification. Minashima T., Aso H., Yamasaki T., Takano S., Ohwada S., Watanabe K. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 45th Annual Meeting. 2005.12, San Francisco, USA. (Poster)

42. A stem/progenitor cell line derived from bovine anterior pituitary exhibits an immunomodulator function. Nagai Y., Ogasawara H., Taketa Y., Aso H., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. 1st Conference of Asian Association of Veterinary Anatomists (Joint Meeting with JAVA). 2006.3. Tsukuba, Japan. (Poster)
43. Localization of cellular prion protein (PrP^c) in murine and bovine small intestine. Miyazawa K., Aso H., Kanaya T., Takakura I., Tanaka S., Watanabe K., Ohwada S., Sakaguchi S., Katamine S. and Yamaguchi T. 1st Conference of Asian Association of Veterinary Anatomists (Joint Meeting with JAVA). 2006.3. Tsukuba, Japan. (Poster)
44. Expression of leptin and leptin receptor in bovine adenohipophyseal cells. Ogasawara H., Ohwada S., Nagai Y., Taketa Y., Watanabe K., Aso H. and Yamaguchi T. 7th Joint Meeting of the Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry and the US Histochemical Society. 2006.8, Hawaii, USA. (Poster)
45. Differential expression of myostatin and activin receptor type IIB in the bovine anterior pituitary gland. Taketa Y., Aso H., Nagai Y., Ogasawara H., Hayashi S., Miyake M., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. 7th Joint Meeting of the Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry and the US Histochemical Society. 2006.8, Hawaii, USA. (Poster)
46. Hyperplasia in DM cattle is due to failure of MSTN induction by HGF. Hayashi S., Aso H., Ogasawara H., Miyake M., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. 7th Joint Meeting of the Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry and the US Histochemical Society. 2006.8, Hawaii, USA. (Poster)
47. No relation between myostatin and IGF-1 on skeletal muscle development. Miyake M., Hayashi S., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. 12th AAAP Animal Science Congress. 2006.9, Busan, Korea. (Poster)
48. Myofiber types and capillary density in skeletal muscles of fattened Japanese black steers after grazing. Kido K., Watanabe K., Ohwada S., Yamaguchi M., Hayashi Y. and Yamaguchi Y. 12th AAAP Animal Science Congress. 2006.9, Busan, Korea. (Oral)
49. Beef productivity of double-musled Japanese shorthorn cattle. Watanabe K., Konashi S., Satoh Y., Takahashi M., Kawahata S., Yoshikawa Y., Aso H. and Yamaguchi T. 12th AAAP Animal Science Congress. 2006.9, Busan, Korea. (Oral)

50. Age-related changes of leukocytes and T cell subsets in peripheral blood of Japanese Black cattle. Tanaka S., Miyazawa K., Watanabe K., Ohwada S., Aso H., Nishida S. and Yamaguchi T. 12th AAAP Animal Science Congress. 2006.9, Busan, Korea. (Oral)
51. Immunohistochemical characterization of cell types expressing the cellular prion protein in the small intestine of cattle and mice. Miyazawa K., Kanaya T., Tanaka S., Takakura I., Watanabe K., Ohwada S., Kitazawa H., Rose M. T., Sakaguchi S., Katamine S., Yamaguchi T and Aso H. American Society for Cell Biology. 46th Annual Meeting. 2006.12, San Diego, USA (Poster)
52. Establishment of a clonal porcine intramuscular preadipocyte (PIP) line. Sanosaka M., Aso H., Suzuki K., Minashima T., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology. 46th Annual Meeting. 2006.12, San Diego, USA (Poster)
53. An established anterior pituitary progenitor cells (BPC-1) could produce several inflammatory cytokines by the stimulation through its Il-18 receptors. Nagai Y., Ogasawara H., Aso H., Taketa S. and Yamaguchi Y. American Society for Cell Biology. 46th Annual Meeting. 2006.12. San Diego, USA (Poster)
54. Characters and functions of anterior pituitary progenitor cells that are identified by a novel monoclonal antibody. Nagai Y., Aso H., Ogasawara H., Tanaka S., Watanabe K., Ohwada S and Yamaguchi T. Joint Annual Meeting of the American Dairy Science Association (ADSA), Poultry Science Association (PSA), Asociaci-n Mexicana de Producci-n Animal (AMPA), and the American Society of Animal Science (ASAS). 2007.7. San Antonio. USA (Oral)
55. MSTN regulates IGF-2 but not IGF-1 expression during myogenesis of cattle. Miyake M., Hayashi S., Imai Y., Watanabe., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. Joint Annual Meeting of the American Dairy Science Association (ADSA), Poultry Science Association (PSA), Asociaci-n Mexicana de Producci-n Animal (AMPA), and the American Society of Animal Science (ASAS). 2007.7. San Antonio. USA (Oral)
56. Comparative expression of activin receptor type IIB in bovine peripheral blood mononuclear cells. Tanaka S., Hayashi S., Taketa Y., Miyake M., Watanabe K., Ohwada S., Aso H and Yamaguchi T. Joint Annual Meeting of the American Dairy Science Association (ADSA), Poultry Science Association (PSA), Asociaci-n Mexicana de Producci-n Animal (AMPA), and the American Society of Animal Science (ASAS). 2007.7. San Antonio. USA (Oral)

57. An established murine intestinal epithelial cell line (MIE) differentiates into M cells. Kanaya T., Miyazawa K., Takakura I., Itani W., Watanabe K., Ohwada, S. Yamaguchi T. and Aso H. 13th International Congress of Mucosal Immunology (ICMI). 2007.00. (Poster)
58. Differentiation of a murine intestinal epithelial cell line (MIE) into M Cells. Kanaya T., Miyazawa K., Takakura I., Itani W., Akiyama Y., Watanabe K., Ohwada S., Yamaguchi T. and Aso H. American Society for Cell Biology. 47th Annual Meeting. 2007.12. Washington DC, U.S.A (Poster)
59. Cellular localization of neuropeptide Y in adenohypophysis. Ogasawara H., Aso. H., Nagai Y., Akasaka D., Sato H., Watanabe K., Ohwada S. and Yamaguchi T. The 6th Congress of the Asia and Oceania Society for Comparative Endocrinology. 2007.12. Darjeeling. India. (Oral)
60. Differentiation of a murine intestinal epithelial cell line (MIE) towards the M cell lineage. Kanaya T., Takakura I., Itani W., Watanabe K., Ohwada S., Yamaguchi T. and Aso H. RCAI-JSI Workshop. 2008.3, Yokohama, Japan. (Poster)
61. Effect of myostatin on IL-6 expression in skeletal muscle. Miyake M., Iwasaki S., Imai Y., Abe H., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. The 13th AAAP Animal Science Congress. 2008.9., Hanoi, Vietnam. (Poster)
62. Influence of myostatin on chemokine expressions in bovine skeletal muscle. Iwasaki S., Miyake M., Watanabe K., Ohwada S., H. Aso, and T. Yamaguchi. The 13th AAAP Animal Science Congress. 2008.9., Hanoi, Vietnam. (Poster)
63. Bovine $\gamma\delta$ T cells display cytotoxic activity following IL-2 stimulation. Tanaka S., Noguchi Y., Guo Y., Abe H., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. The 4th Congress of the Federation of Immunology Societies of Asia-Oceania (FIMSA). 2008.10, Taipei, Taiwan. (Poster)
64. Establishment of *in vitro* model for murine intestinal M cell differentiation. Kanaya T., Miyazawa K., Takakura I., Itani W., Watanabe H., Hondo T., Watanabe K., Ohwada S., Yamaguchi T. and Aso H. American Society for Cell Biology. 48th Annual Meeting, 2008.12, San Francisco, USA. (Poster)
65. The evaluation of transepithelial bse agent transport by *in vitro* bovine M cell model. Miyazawa K., Kanaya T., Nishida N., Yamaguchi T., Katamine S. and Aso H. American Society for Cell Biology. 48th Annual Meeting., 2008.12, San Francisco, USA. (Poster)

66. Myostatin expresses in neurons related to olfactory system in the brain. Iwasaki S., Miyake M., Kitagawa E., Watanabe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi T. American Society for Cell Biology, 49th Annual Meeting. 2009.12. San Diego, USA (Poster)
67. Peripheral serotonin enhanced bile acids circulation and accelerated lipid metabolism. Watanabe H., Akasaka D., Saito K., Ogasawara H., Kanaya T., Miyake M., Hondo T., Takahashi Y., Sato K., Ohwada S., Watanabe K., Yamaguchi T. and Aso. H. American Society for Cell Biology, 49th Annual Meeting. 2009.12. San Diego, USA (Poster)
68. Silencing TIEG1 expression promotes myotube formation through regulation of apoptosis. Miyake M., Iwasaki S., Takahashi H., Watanebe K., Ohwada S., Aso H. and Yamaguchi H. American Society for Cell Biology, 49th Annual Meeting. 2009.12., San Diego, USA (Poster)

国内会議・学会

i) 講演

特別講演

1. ラクトフェリンによる乳腺上皮細胞のアポトーシスの誘導, 山口高弘, 第5回乳房炎研究会学術集会シンポジウム. 2000年9月, 仙台国際センター, 仙台市
2. 顕微鏡で見る食品の品質とおいしさ — 食肉製品と乳製品の食品組織学 —, 山口高弘, 日本畜産学会公開講演会: 東北の家畜と動物性食品のフロンティアサイエンス 潤いとおいしさを求めて, 2003年7月, 仙台市青年文化センター, 仙台市
3. 古くて新しい病気 — 乳房炎 — 山口高弘, 大動物臨床アカデミー, 北海道大学・酪農学園大学現代 GP, 2008年9月, 酪農学園大学, 江別市
4. 牛肉の自給率の向上と次世代型肉用牛開発の展望, 山口高弘, 第59回東北畜産学会大会, 2009年9月, 東北大学, 仙台市

招待・指名講演

1. 筋線維型の可変性と肉質, 渡邊康一, 金野俊洋, 山口高弘, 第98回日本畜産学会大会シンポジウム. 2001年3月, 東北学院大, 仙台市
2. 筋芽細胞による筋管形成機序, 奈良英利, 山口高弘, 第98回日本畜産学会大会シンポジウム. 2001年3月, 東北学院大, 仙台市
3. ソマトトロフの構造と機能, 佐藤貴弘, 山口高弘, 第98回日本畜産学会大会シンポジウム. 2001年3月, 東北学院大, 仙台市

4. 鶏筋細胞の増殖・分化に対するケトン体の作用. 大津晴彦, 山口高弘, 西田浩志, 佐藤 幹, 秋葉征夫. 第98回日本畜産学会大会シンポジウム. 2001年3月, 東北学院大, 仙台市
5. 乳腺機能と乳腺免疫. 山口高弘. 第132回日本獣医学会集会シンポジウム, 2001年10月, 岩手大学, 盛岡市
6. ウシ乳腺上皮細胞での mIEL と乳腺上皮細胞とのインタラネット. 山口高弘, 熊谷勝男. 第136回日本獣医学会集会シンポジウム, 2003年10月, 青森市文化会館, 青森市
7. 摂食調節神経ペプチドの下垂体前葉細胞での発現とその役割. 山口高弘, シンポジウム「視床下部—下垂体系の形態学研究の最近のトピックス」, 第20回日本下垂体研究会・第32回日本神経内分泌学会合同学術集会「Brain-Pituitary 2005」, 2005年7月, 万国津梁館, 名護市
8. 乳房炎発症に伴う乳腺上皮細胞の免疫応答. 山口高弘. 第10回日本乳房炎研究会学術集会 (記念シンポジウム), 2005年10月, つくば国際会議場, つくば市
9. 乳房炎の新知見—ここまで進んだ乳房炎研究—乾乳期治療による乳房炎防除. 板垣昌志, 高橋純子, 山口高弘, 田中沙智, 貝 健三, 栗林康子. 日本獣医師会・日本獣医学会連携大会企画合同シンポジウム (第141回日本獣医学会学術集会), 2006年3月, つくば国際会議場, つくば市
10. 日本短角種DM牛の特質とミオスタチン作用, 日本畜産学会企画シンポジウム「ルミネントバイオロジーの新展開」, 山口高弘. 日本畜産学会第106回大会, 2006年3月, 九州大学, 北九州市
11. マイオスタチン欠損牛による骨格筋肥大機構. 林 晋一郎, 渡邊康一, 麻生久, 山口高弘. 北里大学獣医畜産学部ハイテク・リサーチ・センターセミナー, 2006年9月, 古牧温泉青森屋, 三沢市
12. 下垂体前葉細胞のイムノエンドクラインネットワーク. 山口高弘, 永井康裕. 日本下垂体研究会第22回学術集会・シンポジウムⅠ「下垂体前葉研究の展望」, 2007年8月, 湘南国際村センター国際会議場, 神奈川県葉山町
13. 筋線維の機能的分化と筋線維型移行. 山口高弘・渡邊康一. 第38回繊維学会夏季セミナー, 2007年9月, サンホテルフェニックス, 宮崎市
14. 下垂体前葉細胞の機能調節因子とその作用. 山口高弘. 日本下垂体研究会第24回学術集会・吉村賞受賞講演, 2009年8月, 古牧温泉青森屋, 三沢市

ii) 一般発表

1. 肉豚下垂体の組織化学的研究. 山口高弘, 星野忠彦, 玉手英夫. 第59回日本畜産学会大会. 1971年4月, 名古屋市, 名古屋大学

2. ラット下垂体前葉における去勢後の Non-Specific esterase, Acid phosphatase. 山口高弘, 星野忠彦, 玉手英夫. 第60回日本畜産学会大会. 1972年 4 月, 東京都武蔵野市, 日本獣医畜産大学
3. 豚下垂体前葉の酵素組織化学的観察. 山口高弘, 星野忠彦, 玉手英夫. 第61回日本畜産学会大会. 1973年 4 月, 東京都府中市, 東京農工大学
4. ラット下垂体前葉における酸化—還元酵素の組織化学的研究. 山口高弘, 星野忠彦, 玉手英夫. 第63回日本畜産学会大会. 1974年 4 月, 東京都世田谷区, 日本大学農獣医学部
5. むれ豚の成因と防除に関する組織化学的研究 V. Furazolidone 投与肉豚の筋肉. 星野忠彦, 山口高弘, 土屋 剛, 松崎勝寛, 米谷定光, 新妻沢夫. 第64回日本畜産学会大会. 1975年 4 月, 神戸市, 神戸大学
6. 下垂体前葉の N-Acetyl- β -glucosaminidase 活性について. 山口高弘, 星野忠彦, 玉手英夫. 第64回日本畜産学会大会. 1975年 4 月, 神戸市, 神戸大学
7. OK-432 によるインターフェロン活性および抗ウイルス活性物質の産生と NK 活性の増強. 斉藤元男, 児井 稔, 海老名卓三郎, 山口高弘. 第52回日本細菌学会. 1980年, 新潟
8. 有機ゲルマニウム Ge-132 の抗腫瘍性機序に関する研究 II. 誘起血清インターフェロン (IF) の活性化マクロファージ (M ϕ) 誘導と Natural Killer (NK) 活性の増強について. 麻生 久, 山口高弘, 中田勝彦, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第39回日本癌学会総会. 1980年, 東京
9. 有機ゲルマニウム化合物 Ge-132 の抗腫瘍機序に関する研究 III. ヒトでの Ge-132 投与による IFN 誘起と NK 活性増強. 麻生 久, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香雄, 北原正和, 森 照明, 鈴木二郎. 第40回日本癌学会総会. 1981年, 札幌
10. *Streptococcus faecalis*, TH69 の免疫賦活化作用. 山口高弘, 黒田洋子, 阿部信行, 星野文彦, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第40回日本癌学会総会. 1981年, 札幌
11. *In vitro* における OK-432 の IFN 誘起. 斉藤元男, 児井 稔, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第40回日本癌学会総会. 1981年, 札幌
12. Bacterial Immunopotentiator (OK-432, TH-69) における *in vitro* 培養系において誘起されたインターフェロンの性状. 斉藤元男, 児井 稔, 海老名卓三郎, 石田名香雄, 山口高弘, 川出由己. 第29回日本ウイルス学会総会. 1981年, 東京
13. 顕微鏡映画によるマウス NK 細胞の解析 — 生きた NK 細胞の形態 —. 海老名卓三郎, 山口高弘, 斉藤元男, 石田名香雄. 第11回日本免疫学会総会. 1981年, 東京

14. OK-432 によるインターフェロン産生機序に関するマクロファージの作用。齊藤元男, 児井 稔, 山口高弘, 柴田芳実, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第11回日本免疫学会総会, 1981年, 東京
15. Interferon challenges cancer. 海老名卓三郎, 麻生 久, 山口高弘, 柴井 明, 齊藤元男, 石田名香雄。第41回ウイルス抑制因子研究会。1981年, 東京
16. Immunopotentiator 誘起 IFN- γ とその *in vitro* における生物活性。齊藤元男, 山口高弘, 海老名卓三郎, 青沼悦子, 児井 稔, 石田名香雄。第41回ウイルス抑制因子研究会。1981年, 東京
17. 感作マウス脾細胞における TH69, OK-432 の IFN- γ 産生機序の解明。黒田洋子, 山口高弘, 星野文彦, 齊藤元男, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第41回日本癌学会総会。1982年, 大阪
18. IFN- γ によるマウス Meth-A sarcoma に対する抗腫瘍効果 (その 1)。齊藤元男, 山口高弘, 野田哲生, 児井 稔, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第41回日本癌学会総会。1982年, 大阪
19. IFN- γ によるマウス Meth-A sarcoma に対する抗腫瘍効果 (その 2) — *in vitro* における効果について —。野田哲生, 齊藤元男, 山口高弘, 児井 稔, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第41回日本癌学会総会, 1982年, 大阪
20. *In vitro* に於ける IFN γ 産生を抑制する細胞の解析。山口高弘, 黒田洋子, 齊藤元男, 麻生 久, 海老名卓三郎, 石田名香雄, 星野文彦。第12回日本免疫学会総会。1982年, 仙台
21. Interferon γ (IFN- γ) 産生における Interleukin2 (IL2) 及び血清因子の影響。齊藤元男, 青沼悦子, 田村啓二, 野田哲生, 児井 稔, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第12回日本免疫学会総会。1982年, 仙台
22. バクテリア感作マウス脾細胞における IFN- γ 産生機序。黒田洋子, 山口高弘, 齊藤元男, 海老名卓三郎, 石田名香雄, 星野文彦。第42回ウイルス抑制因子研究会。1982年, 仙台
23. *In vitro* に於ける Con A 誘起 IFN- γ の細胞増殖抑制効果。野田哲生, 齊藤元男, 青沼悦子, 児井 稔, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第42回ウイルス抑制因子研究会。1982年, 仙台
24. *Streptococcus pyogenes* Su 株 (OK-432) の cell wall 画分の IFN- γ 誘起能について。齊藤元男, 青沼悦子, 山口高弘, 児井 稔, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第42回ウイルス抑制因子研究会。1982年, 仙台
25. *Mycoplasma fermentans* によるマウス IFN- γ 誘起。児井 稔, 齊藤元男, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香雄。第42回ウイルス抑制因子研究会。1982年, 仙台

26. OK-432 による IFN γ の産生機序. 青沼悦子, 斉藤元男, 山口高弘, 野田哲生, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第43回ウイルス抑制因子研究会. 1983年, 京都
27. BCG 感作マウスにおける IFN 産生と NK 活性の関係. 麻生 久, 山口高弘, 黒田洋子, 井上英男, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第43回ウイルス抑制因子研究会. 1983年, 京都
28. *Streptococcus faecalis* preparation, TH69 の腫瘍内投与による抗腫瘍効果. 山口高弘, 神谷英彦, 黒田洋子, 海老名卓三郎, 星野文彦, 石田名香雄. 第42回日本癌学会総会. 1983年, 名古屋
29. 有機ゲルマニウム化合物 Ge-132 の抗腫瘍機序に関する研究Ⅳ. Ge-132 の BALB/c-Meth-A 腫瘍系に与える影響. 麻生 久, 渋谷恵美, 中村武彦, 井上英男, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第42回日本癌学会総会. 1983年, 名古屋
30. 合成コードファクター, 6,6'-di-o-decanoyl- α,α -trehalose(SS554) の抗腫瘍性 (第4報). 神谷英彦, 山口高弘, 石井二三夫, 高野昇一, 香取達彦, 海老名卓三郎, 石田名香雄. 第43回日本癌学会総会. 1984年, 福岡
31. “Double grafted tumor system” を用いた免疫療法剤の転移抑制効果の評価 (1報). 海老名卓三郎, 神谷英彦, 山口高弘, 石田名香雄. 第44回日本癌学会総会. 1985年, 東京
32. Magnetic Resonance Imaging (MR 画像) による牛枝肉の脂肪交雑の評価 1. 筋肉内脂肪の検出方法の確立. 星野忠彦, 山口高弘, 大和田修一, 鈴木 惇, 小堤恭平, 吉武 充, 松本 恒, 坂本澄彦, 佐藤晃三. 第84回日本畜産学会大会. 1991年 3 月, 相模原市, 麻布大学
33. 豚骨格筋・筋芽細胞の細胞化学的特徴. 山口高弘, 星野忠彦. 第84回日本畜産学会大会. 1991年 3 月, 相模原市, 麻布大
34. ブタ筋芽細胞の分化誘導の調節. 山口高弘, 大信田慎一, 塩谷 格, 北澤春樹, 鈴木 惇. 第85回日本畜産学会大会. 1992年 3 月, 東広島市, 広島大学
35. *Lact. cremoris* の生産する粘質物のリンパ球幼若化の作用特性. 北澤春樹, 藤本裕子, 伊藤敏敏, 山口高弘. 第85回日本畜産学会大会. 1992年 3 月, 東広島市, 広島大学
36. 牛骨格筋における筋細胞の培養. 大信田慎一, 山口高弘, 塩谷 格, 小堤恭平, 鈴木 惇. 第86回日本畜産学会大会. 1992年 8 月, 盛岡市, 岩手大学
37. 培養系における牛筋肉内脂肪細胞の出現. 塩谷 格, 山口高弘, 大信田慎一, 鈴木 惇. 第86回日本畜産学会大会. 1992年 8 月, 盛岡市, 岩手大学
38. *L. gasseri* 刺激によるマクロファージからのインターフェロンの誘起. 松村一城, 北澤春樹, 山口高弘, 伊藤敏敏. 第86回日本畜産学会大会. 1992年 8 月, 盛岡市, 岩手大学

39. 豚下垂体前葉のアルカリホスファターゼの性状と陽性細胞の同定. 山口高弘, 鈴木 惇. 第86回日本畜産学会大会. 1992年 8 月, 盛岡市, 岩手大学
40. *Lact. cremoris* が生産するリン酸化多糖のB細胞幼若化作用における FCM2 パラメータ解析. 北澤春樹, 山口高弘, 伊藤敏敏. 第87回日本畜産学会大会. 1993年 3 月, 東京大学
41. 牛の筋芽細胞の増殖および分化に対する酸性線維芽細胞成長因子とインスリン様成長因子-1 の作用. 大信田慎一, 山口高弘, 塩谷 格, 小田伸一, 佐藤 威, 小堤恭平, 鈴木 惇. 第87回日本畜産学会大会. 1993年 3 月, 東京大学
42. 乳酸菌, *L. gasseri*, によるサイトカイン産生遺伝子の発現と調節. 北澤春樹, 富岡佳久, 村松一城, 山口高弘, 麻生 久, 水柿道直, 伊藤敏敏. 日本免疫学会 (第23回), 1993年, 11月, 仙台国際センター・仙台市民会館
43. 培養牛筋原細胞の微細構造. 山口高弘, 大信田慎一, 北澤春樹, 麻生 久, 小堤恭平, 鈴木 惇. 第88回日本畜産学会大会. 1994年 3 月, 日本大学
44. 分化能を有した牛筋肉内脂肪細胞株の樹立. 麻生 久, 阿部啓之, 小堤恭平, 山口高弘, 高森 靖, 児玉 章, 高野昇一. 第88回日本畜産学会大会. 1994年 3 月, 日本大学
45. *Lact. cremoris* の生産するリン酸化多糖によるサイトカイン産生. 北澤春樹, 山口高弘, 富岡佳久, 麻生 久, 水柿道直, 伊藤敏敏. 第88回日本畜産学会大会. 1994年 3 月, 日本大学
46. 豚胎児抽出物の筋管形成に対する影響. 山口高弘, 北澤春樹, 麻生 久, 小堤恭平, 吉武 充, 伊達洋司, 鈴木 惇. 第89回日本畜産学会大会. 1994年10月, 新潟大学
47. 豚下垂体前葉における Mammosomatotroph の同定と分布. 井出陽一, 山口高弘, 鈴木 惇. 第89回日本畜産学会大会. 1994年10月, 新潟大学
48. α -1 酸性糖蛋白の脂肪酸遊離誘導活性. 麻生 久, 阿部啓之, 小堤恭平, 山口高弘, 高森 靖, 児玉 章, 高野昇一. 第89回日本畜産学会大会. 1994年10月, 新潟大学
49. 長期培養が可能となった牛筋肉内脂肪細胞株の特性. 麻生 久, 阿部啓之, 小堤恭平, 山口高弘, 高森 靖, 児玉 章, 高野昇一. 日本動物細胞工学会 (第4回), 1994年
50. 牛筋芽細胞の三次元培養. 山口高弘, 北澤春樹, 佐藤鶴治, 麻生 久, 小堤恭平, 吉武 充, 伊達洋司, 鈴木 惇. 第90回日本畜産学会大会. 1995年 3 月, 宮崎大学
51. 鶏筋細胞の筋形成に対するプロスタグランジン E_2 の作用. 西田浩志, 山口高弘, 佐藤 幹, 大津晴彦, 秋葉征夫. 第91回日本畜産学会大会. 1996年 3 月, 名古屋大学

52. *In Vitro* での筋形成に対する成長因子の作用. 山口高弘, 麻生 久, 小堤恭平, 鈴木 惇. 第91回日本畜産学会大会. 1996年 3 月, 名古屋大学
53. 鶏骨格筋細胞の分化に対するプロスタグランジン E_2 と F_{2a} の作用. 西田浩志, 山口高弘, 佐藤 幹, 大津晴彦, 秋葉征夫. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
54. 鶏の培養筋細胞の分化に対する β -Hydroxybutyrate の影響. 大津晴彦, 山口高弘, 西田浩志, 佐藤 幹, 秋葉征夫. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
55. 牛の筋芽細胞におけるアセチルコリンエステラーゼ活性の出現. 奈良英利, 山口高弘, 鈴木 惇. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
56. 筋芽細胞の増殖・分化に対するインターロイキン-1 (IL-1) の作用. 山口高弘, 奈良英利, 北澤春樹, 大津晴彦, 鈴木 惇. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
57. 牛筋肉内脂肪前駆細胞 (BIP 細胞) 株に対するモノクローナル抗体の作製 (I) — 樹立した抗体株とその特性 —. 麻生 久, 中島郁世, 野村 将, 山口高弘, 村山美穂, 杉本喜憲. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
58. 牛筋肉内脂肪前駆細胞 (BIP 細胞) 株に対するモノクローナル抗体の作製 (II) — 細胞増殖期に出現する 12H 抗原について —. 米倉信一, 中島郁世, 野村 将, 萩野顕彦, 山口高弘, 村山美穂, 杉本喜憲, 佐々木康之, 麻生 久. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
59. 脂肪細胞分化に伴う細胞外マトリックスの量及び構造変化. 中島郁世, 山口高弘, 麻生 久. 第92回日本畜産学会大会. 1997年 3 月, 明治大学
60. プロスタグランジン E_1 , E_2 の鶏骨格筋細胞に対する筋形成促進作用の比較検討. 西田浩志, 山口高弘, 佐藤 幹, 大津晴彦, 秋葉征夫. 第93回日本畜産学会大会. 1997年 8 月, 帯広畜産大学
61. 鶏筋芽細胞の増殖に対する β -Hydroxybutyrate の作用. 大津晴彦, 山口高弘, 西田浩志, 佐藤 幹, 秋葉征夫. 第93回日本畜産学会大会. 1997年 8 月, 帯広畜産大学
62. 筋肉内脂肪組織形成と細胞外マトリックス. 中島育世, 山口高弘, 麻生 久. 第93回日本畜産学会大会. 1997年 8 月, 帯広畜産大学
63. ウシ筋芽細胞のクローン化と筋管形成. 奈良英利, 山口高弘, 北澤春樹, 鈴木 惇. 第93回日本畜産学会大会. 1997年 8 月, 帯広畜産大学
64. ウシ下垂体前葉での成長ホルモン分泌細胞とプロラクチン分泌細胞の分布と割合. 佐藤貴弘, 山口高弘, 松崎正敏, 鈴木 惇. 第93回日本畜産学会大会. 1997年 8 月, 帯広畜産大学

65. 鶏骨格筋細胞の増殖に対するプロスタグランジン E_2 の作用. 西田浩志, 山口高弘, 佐藤 幹, 大津晴彦, 秋葉征夫. 第94回日本畜産学会大会, 1998年3月神戸大学
66. 和牛の成長ホルモンとプロラクチンの血漿中濃度と産生細胞の変動. 松崎正敏, 佐藤貴弘, 守田 智, 柴 伸弥, 常石英作, 原 慎一郎, 小堤恭平, 山口高弘. 第94回日本畜産学会大会, 1998年3月神戸大学
67. 牛下垂体前葉の成長ホルモン分泌細胞とプロラクチン分泌細胞の出現割合に対する給与飼料の影響. 佐藤貴弘, 山口高弘, 松崎正敏, 川畑健次, 小堤恭平, 鈴木 惇. 第94回日本畜産学会大会, 1998年3月神戸大学
68. 牛の下垂体前葉に出現する濾胞構造の性状. 山口高弘, 佐藤貴弘, 松崎正敏, 川畑健次, 小堤恭平, 鈴木 惇. 第94回日本畜産学会大会, 1998年3月, 神戸大学
69. ウシ, ブタの成長に伴う MS 細胞の分布と機能的変化. 佐藤貴弘, 山口高弘, 井出陽一, 佐藤拓也, 松崎正敏. 第23回日本比較内分泌学会大会, 1998年7月, 岩手県釜石市, 釜石市民文化会館
70. 鶏筋芽細胞と C2C12 マウス筋芽細胞の増殖に対する β -hydroxybutyrate の作用の差異. 大津晴彦, 山口高弘, 西田浩志, 佐藤 幹, 秋葉征夫. 第95回日本畜産学会大会, 1999年3月, 東京農業大学
71. ブタの成長過程における濾胞星状細胞の免疫細胞化学的解析. 堀口英司, 山口高弘, 佐藤貴弘, 佐藤拓也, 鈴木 惇. 第95回日本畜産学会大会, 1999年3月, 東京農業大学
72. 去勢後の GH 細胞と PRL 細胞での Pit-1 発現の変化. 佐藤貴弘, 山口高弘, 佐藤拓也, 堀口英司, 鈴木 惇. 第95回日本畜産学会大会, 1999年3月, 東京農業大学
73. ウシ, ブタの副腎皮質細胞でのコレステロール側鎖分割酵素 ($P450_{acc}$) 出現の免疫細胞化学的比較. 佐藤拓也, 山口高弘, 佐藤貴弘, 堀口英司, 鈴木 惇. 第95回日本畜産学会大会, 1999年3月, 東京農業大学
74. *Lactobacillus gasseri* によるマクロファージ走化性の増強とシグナル伝達. 井野友彦, 北澤春樹, 岡部悦子, 川井 泰, 齋藤忠夫, 伊藤敏敏, 山口高弘. 第95回日本畜産学会大会, 1999年3月, 東京農業大学
75. 培養システムにおけるブタ腸管M細胞の性状. 北澤春樹, 原田東子, 川井 泰, 齋藤忠夫, 伊藤敏敏, 山口高弘. 第95回日本畜産学会大会, 1999年3月, 東京農業大学
76. 去勢による GH 細胞の Pit-1 発現の抑制. 佐藤貴弘, 佐藤拓也, 堀口英司, 山口高弘. 第24回日本比較内分泌学会大会, 1999年7月, 愛知県名古屋, 名古屋大学

77. 黒毛和種和齢雌牛の咬筋における細胞外マトリックス分布形態の共焦点レーザー顕微鏡による3次元立体再構築. 後藤貴文, 桜井圭介, 岩元久雄, 山口高弘, 尾野喜孝, 田畑正志, 西村正太郎. 第96回日本畜産学会大会, 1999年10月, 鹿児島大学
78. ブタ下垂体前葉の濾胞星状細胞の微細構造. 山口高弘, 佐藤貴弘, 堀口英司, 佐藤拓也, 鈴木 惇. 第96回日本畜産学会大会, 1999年10月, 鹿児島大学
79. ブタ IL-7 のクローニングと乳用乳酸菌由来因子の腸管免疫に対する作用. 上羽悟史, 北澤春樹, 山口高弘, 川井 泰, 齋藤忠夫, 伊藤敏敏. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
80. ブタ腸管M細胞の継代培養と高分子取り込み能. 北澤春樹, 戎野友子, 山口高弘, 川井 泰, 齋藤忠夫, 伊藤敏敏. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
81. ウシの筋形成過程の筋芽細胞における MyHC 発現. 今中崇博, 山口高弘, 奈良英利, 鈴木 惇. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
82. 下垂体前葉の ACTH 細胞に対する多頭飼育環境の影響. 佐藤拓也, 山口高弘, 佐藤貴弘, 佐藤鶴治, 鈴木 惇. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
83. ブタ下垂体前葉での alpha1 酸性糖蛋白産生細胞の同定. 野地智法, 山口高弘, 佐藤貴弘, 堀口英司, 鈴木 惇. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
84. 濾胞星状細胞での S100 蛋白の微細局在. 堀口英司, 山口高弘, 佐藤貴弘, 佐藤鶴治, 鈴木 惇. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
85. 生体内における脂肪前駆細胞の存在様式. 麻生 久, 野村 将, 田原浩司, 村山美穂, 杉本喜憲, 高野昇一, 山口高弘. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
86. 子牛の発育に伴う炭酸脱水酵素活性の変動. 高橋健太郎, 山口高弘, 加藤和雄, 小原嘉昭. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
87. 鶏骨格筋細胞の MyoD 関連遺伝子発現に対するプロスタグランジン E₂ の作用. 西田浩志, 山口高弘, 佐藤幹, 大津晴彦, 秋葉征夫. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学
88. ACTH 細胞におけるガラニンの細胞内局在とその出現に対するテストステロンの影響. 佐藤貴弘, 山口高弘, 佐藤拓也, 佐藤鶴治, 鈴木惇. 第97回日本畜産学会大会, 2000年3月, 京都市, 京都大学, [ベストポスター賞受賞]
89. 牛骨格筋の筋管形成過程における gap junction の関与. 奈良英利, 山口高弘, 今中崇博, 鈴木 惇. 第97回日本畜産学会大会, 2000年, 3月, 京都市, 京都大学

90. 鶏筋細胞の分化に対する β -Hydroxybutyrate の作用. 大津晴彦, 山口高弘, 西田浩志, 佐藤 幹, 秋葉征夫. 第97回日本畜産学会大会, 2000年 3 月, 京都市, 京都大学
91. ロ之島野生化牛骨格筋の細胞外マトリックスの共焦点レーザー顕微鏡による3次元立体再構築. 後藤貴文, 岩元久雄, 山口高弘, 尾野喜孝, 中西良孝, 萬田正治, 田畑正志, 西村正太郎. 第97回日本畜産学会大会, 2000年 3 月, 京都市, 京都大学
92. ACTH 細胞におけるガラニンの細胞内局在とその出現に対するテストステロンの影響. 佐藤貴弘, 佐藤拓也, 堀口英司, 佐藤鶴治, 山口高弘. 日本下垂体研究会第15回学術集会. 2000年 8 月. 岩手教育会館,
93. 乳牛の乳腺上皮細胞の分泌サイクルに伴う機能的変化. 野地智法, 麻生 久, 山口高弘. 第 5 回乳房炎研究会学術集会. 2000年 9 月, 仙台市
94. 骨格筋組織における毛細血管密度の検討. 金野俊洋, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第46回日本解剖学会東北・北海道連合地方会. 2000年10月, 弘前市, 弘前大
95. ブタ回腸のM細胞の性状と分布. 木戸丈友, 佐藤貴弘, 大和田修一, 山口高弘. 第46回日本解剖学会東北・北海道連合地方会. 2000年10月, 弘前市, 弘前大
96. イルカ妊娠黄体の退行に伴う黄体細胞の機能変化. 高橋裕子, 佐藤貴弘, 渡邊康一, 山口高弘. 第46回日本解剖学会東北・北海道連合地方会. 2000年10月, 弘前市, 弘前大
97. 乳腺の免疫機構の解析 (1) 泌乳牛乳腺組織部位でのT細胞サブセットの選択的分布. 黒石智誠, 野地智法, 浅井健一, 山口高弘, 熊谷勝男. 第30回日本免疫学会学術集会. 2000年11月
98. 乳腺の免疫機構の解析 (2) 泌乳牛乳腺の mIEL と小腸 mIEL の細胞表面分子の相似性. 浅井健一, 貝 健三, 山口高弘, 太田 実, 熊谷勝男. 第30回日本免疫学会学術集会. 2000年11月
99. ヒト歯肉上皮細胞の IL-18 の発現と炎症歯肉粘膜への CD8⁺T 細胞と NK 細胞の浸潤. 菅原俊二, 山口高弘, 半澤和雄, 小峯健一, 高田春比古, 熊谷勝男. 第30回日本免疫学会学術集会. 2000年11月
100. Functional Analysis of Oxytocin/Oxytocin-Receptor. 高柳友紀, 持田菜穂子, 山口高弘, 杉本幸彦, 三輪岳志, 西森克彦. 第23回日本分子生物学会年会. 2000年12月, 神戸市
101. ブタ下垂体前葉での Galanin 産生と産生細胞の同定. 渡辺啓介, 佐藤貴弘, 木戸丈友, 山口高弘. 第98回日本畜産学会大会. 2001年 3 月, 仙台市, 東北学院大

102. 雄子牛の去勢がGH軸に及ぼす影響. 松崎正敏, 佐藤貴弘, 柴 伸弥, 常石英作, 山口高弘. 第98回日本畜産学会大会. 2001年3月, 仙台市, 東北学院大.
103. 低周波電気刺激によるヒツジ腰最長筋の筋線維型構成の変化. 長田朋之, 渡邊康一, 金野俊洋, 山口高弘. 第98回日本畜産学会大会. 2001年3月, 仙台市, 東北学院大.
104. ヒツジ咬筋の再生過程における筋線維型の変化. 吉澤大輔, 金野俊洋, 奈良英利, 渡邊康一, 山口高弘. 第98回日本畜産学会大会. 2001年3月, 仙台市, 東北学院大.
105. ウシおよびブタの骨格筋内毛細血管の同定と分布. 金野俊洋, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第98回日本畜産学会大会. 2001年3月, 仙台市, 東北学院大.
106. ヒツジ頬腺および口蓋腺におけるヘテロジェネイティ. 大和田修一, 木戸丈友, 松山隆平, 金野俊洋, 山口高弘, 鈴木惇. 第98回日本畜産学会大会. 2001年3月, 仙台市, 東北学院大.
107. ラット ACTH 細胞の機能的多様性. 佐藤貴弘, 堀口英司, 渡辺啓介, 山口高弘. 第131回日本獣医学会学術集会. 2001年4月, 府中市, 東京農工大.
108. 乳腺でのサイトカイン産生とその役割. 山口高弘, 野地智法, 麻生 久. 第131回日本獣医学会学術集会. 2001年4月, 府中市, 東京農工大.
109. 乳腺上皮細胞の機能的相異と Subpopulation の存在の可能性. 野地智法, 山口高弘. 第131回日本獣医学会学術集会. 2001年4月, 府中市, 東京農工大.
110. ブタM細胞の性状と機能発現. 木戸丈友, 大和田修一, 山口高弘. 第131回日本獣医学会学術集会. 2001年4月, 府中市, 東京農工大.
111. ウシ筋肉内脂肪細胞 (BIP 細胞) の分化. 麻生 久, 田原浩司, 山崎肇史, 長石広志, 斎藤 剛, 高野昇一, 村山美穂, 山口高弘. アディポサイエンス研究会 (第6回), 2001年8月.
112. ウシ下垂体での galanin の産生. 山口高弘, 佐藤貴弘, 松崎正敏, 大和田修一. 第99回日本畜産学会大会. 2001年9月, 伊那市, 信州大.
113. Double muscled 日本短角種牛における胸最長筋の筋線維型構成. 渡邊康一, 金野俊洋, 山口高弘, 鈴木暁之, 太田原健二, 小松繁樹. 第99回日本畜産学会大会. 2001年9月, 伊那市, 信州大.
114. ウシ乳腺上皮細胞株 (BMEC 細胞) の樹立と乳汁合成機構. 麻生 久, M.T. Rose, 野地智法, 渡邊康一, 山口高弘. 第132回日本獣医学会学術集会. 2001年10月, 盛岡市.
115. 乳腺上皮細胞におけるサイトカイン産生能. 野地智法, 麻生 久, 小峯健一, 熊谷勝男, 山口高弘. 第132回日本獣医学会学術集会. 2001年10月, 盛岡市.

116. 生理的乾乳期乳腺免疫機構の維持による乳腺サイクルの円滑な進行 I. 生理的乾乳期乳腺の免疫機構とその変動. 小峯優美子, 浅井健一, 貝 健三, 黒石智誠, 小堤知行, 中井 裕, 太田 実, 山口高弘, 小峯健一, 熊谷勝男. 第132回日本獣医学会学術集会. 2001年10月, 盛岡市
117. 乳腺上皮細胞におけるサイトカイン産生. 野地智法, 麻生 久, 小峯健一, 熊谷勝男, 山口高弘. 第6回乳房炎研究会学術集会. 2001年10月, 仙台市
118. LPS 刺激によるウシ乳腺上皮細胞での Interleukin-8 mRNA 発現誘導. 野地智法, 麻生 久, 小峯健一, 熊谷勝男, 山口高弘. 第133回日本獣医学会学術集会. 2002年3月, 川崎市, 専修大. [日本獣医解剖学会奨励賞]
119. ウシ筋芽細胞の筋管形成時における細胞間情報伝達の解析. 奈良英利, 麻生久, 吉澤大輔, 野地智法, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大.
120. 筋再生過程におけるサイトカインの発現様式. 林 晋一郎, 奈良英利, 吉澤大輔, 野地智法, 佐藤貴弘, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
121. 長期哺乳が子ウシ咬筋の筋線維型構成に及ぼす影響. 渡邊康一, 北出恵太郎, 小原嘉昭, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大.
122. 低周波刺激による I 型筋線維の誘導. 長田朋之, 渡邊康一, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
123. ウシ末梢血における樹状細胞の同定. 宮澤光太郎, 本多正史, 小林 仁, 黒石智誠, 小峯健一, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 熊谷勝男, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大.
124. ウシ乳房炎における顆粒球の機能と膜抗原の解析. 本多正史, 宮澤光太郎, 小林 仁, 黒石智誠, 小峯健一, 熊谷勝男, 麻生 久, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
125. ブタのM細胞の同定と形態学的性状. 木戸丈友, 大和田修一, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
126. PCR サブトラクション法を用いた脂肪細胞分化関連遺伝子の単離. 田原浩司, 山崎肇史, 長石広志, 斉藤 剛, 高野昇一, 麻生久, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
127. ウシ筋肉内脂肪前駆細胞株 (BIP 細胞) の軟骨細胞への分化. 皆嶋 健, 麻生 久, 野地智法, 佐藤貴弘, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大.

128. スジイルカの黄体退行に伴うコラーゲンアイソタイプの挙動. 高橋裕子, 佐藤貴弘, 岩崎俊秀, 銭谷亮子, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
129. チェダーチーズの熟成過程における組織化学的变化. 金山妙子, 鈴木一郎, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 小堤恭平, 山口高弘. 第100回日本畜産学会大会. 2002年3月, 武蔵野市, 日獣大
130. ウシの視床下部と下垂体前葉におけるオレキシンの発現. 渡辺啓介, 麻生 久, 佐藤貴弘, 田原浩司, 高野昇一, 山口高弘. 第4回オレキシン研究会. 2002年5月. 東京, 日本科学未来館
131. ウシの視床下部と下垂体前葉でのオレキシンの発現. 渡辺啓介, 麻生 久, 佐藤貴弘, 田原浩司, 高野昇一, 山口高弘. 日本下垂体研究会第17回学術集会. 2002年8月, 府中市, 東京農工大.
132. 下垂体前葉細胞のガラニン発現に対するテストステロンの作用機序の解析. 山口高弘, 佐藤貴弘, 渡辺啓介, 渡邊康一. 日本下垂体研究会第17回学術集会. 2002年8月, 府中市, 東京農工大.
133. 成長過程にある Double muscled 日本短角種牛胸最長筋における骨格筋線維の組織化学的特性. 渡邊康一, 鈴木暁之, 太田原健二, 小松繁樹, 山口高弘. 第52回東北畜産学会大会. 2002年8月, 福島市.
134. ウシ乳房炎発症における Interleukin-18 の発現変動. 野地智法, 麻生 久, 西森克彦, 小峯健一, 板垣昌志, 熊谷勝男, 山口高弘. 第7回日本乳房炎研究会学術集会. 2002年9月. 仙台市.
135. ウシ乳腺組織での IL-18 の発現. 野地智法, 麻生 久, 西森克彦, 小峯健一, 熊谷勝男, 山口高弘. 第134回日本獣医学会学術集会. 2002年9月, 岐阜市, 岐阜大学
136. ヒト唾液中に存在する唾液腺細胞由来の遊離型 CD14. 菅原俊二, 上原亜希子, 越後成志, 高田春比古, 山口高弘, 佐藤光信. 第44回歯科基礎医学会学術大会. 2002年10月, 東京
137. ウシ乳房炎発症に伴う IL-18 の発現変動. 野地智法, 麻生 久, 西森克彦, 小峯健一, 熊谷勝男, 山口高弘. 第32回日本免疫学会学術集会. 2002年12月, 東京
138. 唾液腺細胞による遊離型 CD14 の産生とヒト唾液中でのその機能. 上原亜希子, 菅原俊二, 佐藤光信, 山口高弘. 第32回日本免疫学会学術集会. 2002年12月, 東京
139. ウシの視床下部と下垂体前葉におけるオレキシンの発現. 渡辺啓介, 麻生 久, 佐藤貴弘, 永井康裕, 田原浩司, 高野昇一, 山口高弘. 第101回日本畜産学会大会. 2003年3月, つくば市

140. ウシの下垂体前葉細胞における IL-18 の産生. 永井康裕, 渡辺啓介, 宮澤光太郎, 林 晋一郎, 野地智法, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第101回日本畜産学会大会. 2003年 3 月, つくば市
141. ACTH 細胞での Galanin 発現に対する Testosterone の作用機序の解析. 佐藤貴弘, 山口高弘, 渡辺啓介, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久. 第101回日本畜産学会大会. 2003年 3 月, つくば市.
142. ヒツジ腰最長筋の長期低周波刺激による筋線維型変化の解析. 長田朋之, 渡邊康一, 山口高弘. 第101回日本畜産学会大会. 2003年 3 月, つくば市
143. Double-Muscled 日本短角種牛由来の筋芽細胞株におけるミオシン重鎖の発現. 林 晋一郎, 麻生 久, 渡邊康一, 千国幸一, 鈴木暁之, 小堤恭平, 山口高弘. 第101回日本畜産学会大会. 2003年 3 月, つくば市
144. 高品質豚肉生産用品種の筋線維型特性. 渡邊康一, 鈴木啓一, 門脇 宏, 柴田知之, 山口高弘. 第101回日本畜産学会大会. 2003年 3 月, つくば市
145. PCR サブトラクション法を用いた脂肪細胞分化関連遺伝子の単離 3. 田原浩司, 山崎肇史, 麻生 久, 長石広志, 斉藤 剛, 高野昇一, 山口高弘. 第101回日本畜産学会大会. 2003年 3 月, つくば市
146. クローン牛末梢血と乳汁におけるリンパ球の性状. 宮澤光太郎, 本多正史, 米内美晴, 斉藤則夫, 麻生 久, 山口高弘. 第135回日本獣医学会学術集会. 2003年 3 月, 東京大学
147. 樹立ブタ腸管上皮細胞株の性状. 木戸丈友, 麻生 久, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第135回日本獣医学会学術集会. 2003年 3 月, 東京大学
148. マイルカの卵巣における白体の組織学的性状. 高橋裕子, 大和田修一, 銭谷亮子, 山口高弘. 平成15年度日本水産学会大会. 2003年 4 月.
149. Double-Muscled ウシから樹立された筋芽細胞株でのミオシン重鎖の発現. 林 晋一郎, 麻生 久, 渡邊康一, 千国幸一, 鈴木暁之, 小堤恭平, 山口高弘. 第76回日本組織培養学会大会. 2003年 5 月, 東京, 昭和大.
150. ウシ下垂体前葉 GH 細胞における IL-18 と IL-18 レセプターの発現. 永井康裕, 渡辺啓介, 野地智法, 林 晋一郎, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第30回日本神経内分泌学会. 第18回日本下垂体研究会. 合同学術集会, 2003年 9 月, 横浜市.
151. ブタ Toll-like receptor (TLR) 9 の抗体作製と臓器発現部位の解析. 遠野雅徳, 北澤春樹, 下里剛土, 加藤真一郎, 川井 泰, 渡邊康一, 山口高弘, 齋藤忠夫. 第102回日本畜産学会大会. 2003年 9 月, 岐阜市, 岐阜大
152. イスの脳におけるドーパミン受容体 D4 の局在. 奈良英利, 井上 一, 村山美穂, 伊藤慎一, 竹花一成, 村山裕一, 酒井洋樹, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第102回日本畜産学会大会. 2003年 9 月, 岐阜市, 岐阜大

153. 体細胞クローン牛のT細胞機能の解析. 宮澤光太郎, 本多正史, 米内美晴, 斉藤則夫, 麻生 久, 山口高弘. 第53回東北畜産学会大会. 2003年 9 月, 仙台市
154. 紅麹もろみ酢の血圧降下作用. 太田代百合子, 大和田修一, 中山文男, 山口高弘. 日本食品科学工学会, 2003年 9 月, 東京農業大学
155. Staphylococcal Enterotoxin C (SEC) と Lipopolysaccharide (LPS) に対するウシ乳腺上皮細胞の応答. 本多正史, 麻生 久, 北澤春樹, 齋藤忠夫, 山口高弘. 第 8 回日本乳房炎研究会学術集会. 2003年10月, 仙台市
156. 大腸菌性乳房炎に伴う乳腺上皮細胞の機能の解析. 本多正史, 麻生 久, 北澤春樹, 岡田洋之, 齋藤忠夫, 熊谷勝男, 山口高弘. 第136回日本獣医学会学術集会. 2003年10月, 青森市
157. ウシの空腸および回腸における $\gamma\delta$ T 細胞の個体発生. 小河大輔, 保田昌宏, 那須哲夫, 山口高弘, 村上隆之. 第136回日本獣医学会学術集会. 2003年10月, 青森市.
158. 食肉の品質判定と異物鑑別のための食品組織学的解析. 今野説子, 佐藤幸作, 渡邊康一, 山口高弘. 全国公衆衛生獣医師協議会・平成16年度調査研究発表会, 2004年 9 月, 東京
159. ブタの下垂体前葉細胞における IL-18, IL-18R α の発現. 永井康裕, 小笠原英毅, 宗田吉広, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年 3 月, 府中市, 東京農工大.
160. ウシ下垂体前葉細胞におけるレプチンの局在. 小笠原英毅, 永井康裕, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年 3 月, 府中市, 東京農工大
161. ミオスタチン欠損筋芽細胞株 (MDMB) での MyoD, myogenin および MyHC 発現に対するミオスタチン (MSTN) の作用. 林 晋一郎, 麻生 久, 渡邊康一, 千国幸一, 鈴木暁之, 佐藤 幹, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年 3 月, 府中市, 東京農工大
162. ウシ骨格筋線維の筋形成過程におけるマイオスタチンの発現. 三浦 優, 林 晋一郎, 林 清吾, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年 3 月, 府中市, 東京農工大
163. ウシ骨格筋組織における c-met の発現. 林 清吾, 林 晋一郎, 三浦 優, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年 3 月, 府中市, 東京農工大.
164. ニワトリ胸筋の筋線維型構成への寒冷暴露の影響. 渡邊康一, 豊水正昭, 上田正俊, 秋葉征夫, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年 3 月, 府中市, 東京農工大.

165. ウシの成長に伴う末梢血T細胞サブセットの変動. 田中沙智, 本多正史, 宮澤光太郎, 北澤春樹, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 西田 茂, 小原嘉昭, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年3月, 府中市, 東京農工大.
166. ウシ乳腺上皮細胞の分化と細胞外マトリックスの関連性. 矢野智樹, 坂本和仁, 小林卓哉, 小林洋介, 萩野顕彦, 麻生 久, 加藤和雄, 山口高弘, 小原嘉昭. 第103回日本畜産学会大会. 2004年3月, 府中市, 東京農工大.
167. ウシ回腸のドーム上皮を構成する細胞とその性状. 金谷高史, 大和田修一, 木戸丈友, 宮澤光太郎, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年3月, 府中市, 東京農工大.
168. ブタ消化器系における抗菌ペプチド産生細胞の局在. 鈴木里奈, 木戸丈友, 宮澤光太郎, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年3月, 府中市, 東京農工大.
169. 軟骨細胞分化における Annxin II および V の発現様式. 皆嶋-健, 麻生 久, 田原浩司, 山崎肇史, 高野昇一, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第103回日本畜産学会大会. 2004年3月, 府中市, 東京農工大.
170. ブタ腸管上皮幹細胞株 (PIE 細胞) に対するモノクローナル抗体作製と上皮細胞の分化機序の解析. 木戸丈友, 麻生 久, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第137回日本獣医学会学会学術集会. 2004年4月, 藤沢市, 日大.
171. ニジマス筋肉由来細胞の性状および *in vitro* における増殖. 中野俊樹, 佐藤仁美, 山口敏康, 奈良英利, 渡邊康一, 山口高弘, 工藤飛雄馬, 佐藤 実. 第1回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2004年5月, 仙台市.
172. 牛肉霜降り遺伝子の特定から肥満原因遺伝子の解明へ. 麻生 久, 田原浩司, 山崎肇史, 皆嶋 健, 佐野坂真人, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第1回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2004年5月, 仙台市.
173. 下垂体前葉細胞での IL-18 を介する immuno-endocrine シグナリング. 永井康裕, 渡辺啓介, 小笠原英毅, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第19回日本下垂体研究会学術集会. 2004年8月. 神奈川県, ホテル箱根アカデミー.
174. ウシ下垂体前葉細胞における Leptin と Leptin receptor の発現. 小笠原英毅, 永井康裕, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第19回日本下垂体研究会学術集会. 2004年8月, 箱根.
175. ウシの組織におけるマイオスタチンの発現. 三浦 優, 林 晋一郎, 渡邊康一, 林 清吾, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第54回東北畜産学会大会. 2004年8月, 盛岡市.

176. ブタ小腸上皮培養細胞のサイトカイン産生機能. 太田代百合子, 木戸丈友, 麻生 久, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第54回東北畜産学会大会. 2004年 8 月, 盛岡市
177. ウシ回腸ドーム上皮におけるM細胞の分布と微細構造の解析. 金谷高史, 大和田修一, 木戸丈友, 宮澤光太郎, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第54回東北畜産学会大会. 2004年 8 月, 盛岡市
178. ウシ末梢血 WC1+ $\gamma\delta$ T 細胞のサイトカイン発現. 田中沙智, 宮澤光太郎, 永井康裕, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 小林 仁, 山口高弘. 第138回日本獣医学会学術集会. 2004年 9 月, 札幌市, 北大
179. ブタM細胞の分化機構に関する組織化学的解析. 宮澤光太郎, 金谷高史, 鈴木里奈, 林 清吾, 永井康裕, 木戸丈友, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第138回日本獣医学会学術集会. 2004年 9 月, 札幌市, 北大
180. 食肉の品質判定と異物鑑別のための食品組織学的解析. 今野説子, 佐藤幸作, 渡邊康一, 山口高弘. 全国公衆衛生獣医師協議会. 平成16年度調査研究発表会. 2004年 9 月.
181. ウシ乳腺上皮細胞の Lipopolysaccharide (LPS) 応答機構の解析. 佐々木幸乃, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第 9 回日本乳房炎研究会学術集会. 2004年10 月, つくば市.
182. ウシ下垂体前葉細胞における Leptin と Leptin receptor の発現. 小笠原英毅, 永井康裕, 武田賢和, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第139回日本獣医学会学術集会. 2005年 3 月, 和光市, 理化学研究所
183. マウス腸管上皮細胞株 (MIE) の樹立とその性状. 金谷高史, 麻生 久, 宮澤光太郎, 木戸丈友, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第139回日本獣医学会学術集会. 2005年 3 月, 和光市, 理化学研究所.
184. ウシ下垂体前葉での IL-18, IL-18R 発現 FS 様細胞株樹立とその性状解析. 永井康裕, 小笠原英毅, 田中沙智, 武田賢和, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3 月, 東京大学農学部. [優秀発表賞受賞]
185. Double-Musclcd 日本短角種牛と通常日本短角種牛由来の筋芽細胞におけるミオシン重鎖の発現. 林 晋一郎, 渡邊康一, 三浦 優, 林 清吾, 三宅雅人, 麻生 久, 大和田修一, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3 月, 東京大学農学部
186. ウシ培養筋芽細胞における筋成長因子刺激によるマイオスタチンの発現変化. 三浦 優, 林 晋一郎, 渡邊康一, 林 清吾, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3 月, 東京大学農学部.

187. 持続的低周波電気刺激によるヒツジ腰最長筋の筋線維型の変化と PGC-1 の発現. 三宅雅人, 林 清吾, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
188. ホルスタイン種体細胞クローン牛の末梢血におけるT細胞サブセットの解析. 田中沙智, 宮澤光太郎, 渡邊康一, 大和田修一, 米内美晴, 齊藤則夫, 麻生久, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
189. ブタ腸管上皮細胞株に対するモノクローナル抗体作製とその抗原解析. 木戸丈友, 麻生 久, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
190. ウシ小腸上皮細胞株の樹立とM細胞分化誘導系の確立. 宮澤光太郎, 麻生 久, 金谷高史, 木戸丈友, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
191. ブタ腸管上皮細胞におけるサイトカイン産生とLPSの作用. 太田代百合子, 木戸丈友, 北澤春樹, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
192. ヒトモデルとしてのブタ腸管関連リンパ組織における Toll-like receptor (TLR) 2 の発現解析. 遠野雅徳, 北澤春樹, 下里剛士, 加藤真一郎, 木村俊朗, 川井 泰, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘, 齋藤忠夫. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
193. 軟骨分化における annexin II および V の発現様式. 皆嶋 健, 麻生 久, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
194. 食肉製品の食品組織学的品質評価法の検討. 桑野敦子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第104回日本畜産学会大会. 2005年 3月, 東京大学農学部
195. 下垂体前葉細胞間相互作用因子としての免疫制御因子・IL-18 の新たな機能解析. 永井康裕, 小笠原英毅, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 東北大学バイオサイエンスシンポジウム (第2回), 2005年 5月, 仙台国際センター
196. ウシ筋芽細胞分化に対するマイオスタチンの影響. 林 晋一郎, 渡邊康一, 林 清吾, 三宅雅人, 武田賢和, 麻生 久, 大和田修一, 山口高弘. 東北大学バイオサイエンスシンポジウム (第2回), 2005年 5月, 仙台国際センター
197. 体細胞クローン牛におけるT細胞の機能. 田中沙智, 宮澤光太郎, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 東北大学バイオサイエンスシンポジウム (第2回), 2005年 5月, 仙台国際センター

198. 新規に樹立したマウス腸管上皮細胞株 (MIE) の性状. 金谷高史, 麻生 久, 宮澤光太郎, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 東北大学バイオサイエンスシンポジウム (第2回), 2005年5月, 仙台国際センター
199. 腸管免疫の主役, M細胞は脱分化後にアポトーシスを起こす. 宮澤光太郎, 麻生 久, 金谷高史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 東北大学バイオサイエンスシンポジウム (第2回), 2005年5月, 仙台国際センター
200. 軟骨分化における Annexin II および V の局在と石灰化の解析. 皆嶋 健, 麻生 久, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 東北大学バイオサイエンスシンポジウム (第2回), 2005年5月, 仙台国際センター
201. サイトカイン IL-18 レセプター (IL-18R) 陽性下垂体前葉細胞株の樹立とその性状. 永井康裕, 小笠原英毅, 田中沙智, 武田賢和, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第20回日本下垂体研究会・第32回日本神経内分泌学会合同学術集会「Brain-Pituitary 2005」, 2005年7月, 沖縄県, 万国津梁館 [優秀発表特別賞受賞]
202. ウシ下垂体前葉での myostatin の発現. 武田賢和, 永井康裕, 小笠原英毅, 林 晋一郎, 三浦 優, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第20回日本下垂体研究会・第32回日本神経内分泌学会合同学術集会「Brain-Pituitary 2005」, 2005年7月, 沖縄県, 万国津梁館
203. ウシ下垂体前葉でのレプチン陽性細胞の同定とその細胞間メディエーターとしての役割. 小笠原英毅, 永井康裕, 武田賢和, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第20回日本下垂体研究会・第32回日本神経内分泌学会合同学術集会「Brain-Pituitary 2005」, 2005年7月, 沖縄県, 万国津梁館
204. ウシの小腸上皮細胞株の樹立とその性状解析. 宮澤光太郎, 麻生 久, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 日本獣医学会 (第140回), 2005年9月, 鹿児島 [日本獣医解剖学会奨励賞受賞]
205. ヒツジ腰最長筋の筋線維型変化に伴うカルパインとカルパスタチンの発現. 林 清吾, 渡邊康一, 三宅雅人, 林 晋一郎, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 日本獣医学会 (第140回), 2005年9月, 鹿児島
206. ブタ腸上皮細胞の分化に伴う claudin-1, -2, -4 の発現. 鈴木里奈・宮澤光太郎・金谷高史・渡邊康一・大和田修一・麻生 久・山口高弘. 日本畜産学会 (第105回), 2005年9月, 札幌コンベンションセンター
207. ウシ乳腺上皮細胞の Lipopolysaccharide 認識機構の解析. 佐々木幸乃・渡邊康一・麻生 久・山口高弘. 日本畜産学会 (第105回), 2005年9月, 札幌コンベンションセンター
208. 日本短角種 DM 牛の育成期における骨格筋の性状. 渡邊康一, 小梨 茂, 鈴木暁之, 佐藤洋一, 大池裕治, 谷藤隆志, 吉川恵郷, 高橋 学, 川畑茂樹, 室谷 進, 千国幸一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 東北畜産学会 (第55回), 2005年, 青森

209. 成長に伴う黒毛和種牛の末梢血白血球とT細胞サブセットの解析. 田中沙智, 宮澤光太郎, 桑野敦子, 大和田修一, 麻生 久, 西田 茂, 山口高弘. 東北畜産学会 (第55回), 2005年, 青森
210. マウス消化管上皮細胞株の樹立とM細胞分化誘導系の確立. 金谷高史, 麻生久, 宮澤光太郎, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. プリオン研究会 (第1回), 2005年
211. ウシ小腸上皮細胞株の樹立とその性状解析. 宮澤光太郎, 麻生 久, 金谷高史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. プリオン研究会 (第1回), 2005年
212. 黒毛和種牛の白血球とT細胞サブセット. 田中沙智, 宮澤光太郎, 桑野敦子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 西田 茂, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学
213. ブタ筋肉内脂肪前駆細胞株 (PIP) の樹立. 佐野坂真人, 麻生 久, 鈴木啓一, 皆嶋 健, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学
214. 日本短角種DM牛の肥育過程における骨格筋の発育とその肉質. 渡邊康一, 小梨 茂, 林 晋一郎, 佐藤洋一, 高橋 学, 川畑茂樹, 吉川恵郷, 麻生 久, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学
215. DM 牛骨格筋における ActR II B の発現. 三宅雅人, 林 晋一郎, 林 清吾, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学
216. ウシ下垂体前葉細胞でのマイオスタチンとその受容体の局在. 武田賢和, 永井康裕, 小笠原英毅, 林 晋一郎, 三浦 優, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学
217. マイオスタチン欠損牛における筋肥大メカニズム. 林 晋一郎, 渡邊康一, 麻生 久, 小笠原英毅, 林 清吾, 三宅雅人, 大和田修一, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学
218. 新規マウス腸管上皮細胞株の樹立とM細胞分化誘導系の確立. 金谷高史, 宮澤光太郎, 高倉郁朗, 渡邊康一, 大和田修一, 北澤春樹, 麻生 久, 山口高弘. 日本畜産学会 (第106回), 2006年3月, 九州大学 [優秀発表賞受賞]
219. 下垂体前葉でのマイオスタチンの内分泌作用. 武田賢和, 渡邊康一, 永井康裕, 小笠原英毅, 林 晋一郎, 三宅雅人, 大和田修一, 小原嘉昭, 麻生 久, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
220. ウシ下垂体前葉におけるレプチンの細胞間メディエーターとしての役割. 小笠原英毅, 大和田修一, 永井康裕, 武田賢和, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター

221. 新規に樹立した IL-18 レセプター (IL-18R) を発現する下垂体前葉細胞株の機能的特性. 永井康裕, 麻生 久, 小笠原英毅, 田中沙智, 武田賢和, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
222. 活性型ミオスタチン欠損牛 (DM牛) における骨格筋肥大メカニズム. 林 晋一郎, 渡邊康一, 三宅雅人, 麻生 久, 小笠原英毅, 大和田修一, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
223. 骨格筋形成過程での IGF-I とミオスタチンの作用. 三宅雅人, 渡邊康一, 林 晋一郎, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
224. ウシ末梢血 $\gamma\delta$ T 細胞の機能的特徴. 田中沙智, 宮澤光太郎, 永井康裕, 桑野敦子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
225. 樹立マウス腸管上皮細胞株によるM細胞分化誘導系の確立. 金谷高史, 麻生久, 宮澤光太郎, 高倉郁朗, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
226. ウシおよびマウス小腸におけるプリオン蛋白の局在. 宮澤光太郎, 金谷高史, 高倉郁朗, 田中沙智, 渡邊康一, 大和田修一, 坂口末廣, 片峰 茂, 山口高弘, 麻生 久. 第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2006年5月, 仙台国際センター
227. 樹立マウス腸管上皮細胞株を用いたM細胞分化誘導系の確立. 金谷高史, 麻生久, 宮澤光太郎, 高倉郁朗, 井谷 航, 北澤春樹, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第12回 Hindgut Club Japan シンポジウム, 2006年
228. ウシ下垂体前葉細胞での Leptin 発現に対する GHRP と Dexamethasone の作用. 小笠原英毅, 永井康裕, 武田賢和, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第21回日本下垂体研究会学術集会. 2006年8月.
229. 下垂体前葉細胞での myostatin 発現とその内分泌的作用. 武田賢和, 永井康裕, 小笠原英毅, 林 晋一郎, 三宅雅人, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第21回日本下垂体研究会学術集会. 2006年8月.
230. ウシ乳腺上皮細胞での LPS 認識機構. 佐々木幸乃, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 日本獣医学会 (第141回), 2006年9月, つくば国際会議場
231. ブタ腸管関連リンパ組織における Toll-like receptor (TLR) 2 および 9 の発現とその機能解析. 遠野雅徳, 下里剛士, 川井 泰, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘, 齋藤忠夫, 北澤春樹. 日本獣医学会 (第141回), 2006年9月, つくば国際会議場

232. 新規に樹立した腸管上皮細胞の活用によるM細胞分化誘導系の開発. 金谷高史, 麻生 久, 宮澤光太郎, 高倉郁朗, 井谷 航, 北澤春樹, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第142回日本獣医学会, 2006年9月, 山口大学
233. 骨格筋におけるミオスタチンのインスリン様成長因子発現に対する作用. 三宅雅人, 林 晋一郎, 小笠原英毅, 武田賢和, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第142回日本獣医学会, 2006年9月, 山口大学
234. マウス腸管でのプリオン蛋白取り込み機序の解析. 高倉郁郎・宮澤光太郎・金谷高史・渡邊康一・大和田修一・坂口末廣・片峰 茂・山口高弘・麻生 久. 2006年プリオン研究会, 2006年
235. ウシおよびマウス小腸における正常プリオン蛋白質の局在. 宮澤光太郎, 金谷高史, 田中沙智, 高倉郁郎, 渡邊康一, 大和田修一, 坂口末廣, 片峰 茂, 山口高弘, 麻生 久. 2006年プリオン研究会, 2006年
236. ブタ筋肉内脂肪細胞株 (PIP) の脂肪細胞分化に及ぼすオクタン酸・オレイン酸の影響. 佐野坂真人, 麻生 久, 鈴木啓一, 皆嶋 健, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第56回東北畜産学会, 2006年
237. ウシの免疫担当細胞における成長ホルモンレセプターとプロラクチンレセプターの発現. 桑野敦子, 田中沙智, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第56回東北畜産学会, 2006年
238. ウシの第四胃粘膜上皮でのグレリンの発現とその陽性細胞の挙動. 高橋一彰, 武田賢和, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第56回東北畜産学会, 2006年
239. セロトニンの肥満抑制効果の解析. 赤坂大輔, 皆嶋 健, 小笠原英毅, 宮澤光太郎, 林 清吾, 武田賢和, 佐藤 幹, 麻生 久, 山口高弘. 第56回東北畜産学会, 2006年
240. Functional differences of WC1⁺CD8⁺ and WC1⁻CD8⁺ $\gamma\delta$ T cells in cattle. 田中沙智, 宮澤光太郎, 麻生 久, 山口高弘. 第36回日本免疫学会, 2006年
241. MSTN と IGF の相互作用による骨格筋形成の制御. 三宅雅人, 林 晋一郎, 武田賢和, 今井由佳, 林しん治, 佐藤友美, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年3月, 麻布大学 [優秀発表賞受賞]
242. オクタン酸およびオレイン酸によるブタ筋肉内脂肪前駆細胞株 (PIP) の脂肪細胞分化誘導機構. 佐野坂真人, 麻生 久, 鈴木啓一, 皆嶋 健, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年3月. 麻布大学 [優秀発表賞受賞]

243. 日本短角種 DM 牛の骨格筋における筋分化調節因子とミオシン重鎖の発現. 室谷 進, 渡辺康一, 小梨 茂, 佐藤洋一, 高橋 学, 川畑茂樹, 吉川恵郷, 麻生 久, 千国幸一, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月. 麻布大学
244. 細菌性外毒素は免疫細胞の活性化を介して乳腺上皮細胞に作用する. 林 智人, 岩崎圭子, 大塚浩通, 麻生 久, 犬丸茂樹, 新井敏郎, 山口高弘, 安部 良. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月. 麻布大学
245. マウス腸管でのプリオン蛋白の取り込みとその伝播経路の解析. 高倉郁朗, 麻生 久, 宮澤光太郎, 金谷高史, 井谷 航, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月.
246. ウシの末梢血とリンパ組織における $\gamma\delta$ T細胞サブセットの解析. 田中沙智, 宮澤光太郎, 永井康裕, 桑野敦子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月. 麻布大学
247. ウシ下垂体前葉細胞株の膜抗原に対する新規モノクローナル抗体の作成とその特性. 永井康裕, 小笠原英毅, 麻生 久, 武田賢和, 田中沙智, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月. 麻布大学
248. ウシ筋線維型移行過程におけるトロポニン亜型の発現変動. 今井由佳, 林 晋一郎, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月. 麻布大学
249. 下垂体前葉細胞での Myostatin の内分泌的作用. 武田賢和, 永井康裕, 小笠原英毅, 林 晋一郎, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第107回日本畜産学会大会. 2007年 3 月. 麻布大学
250. 骨格筋形成過程における Myostatin による IGF-2 発現の制御. 三宅雅人, 林 晋一郎, 渡邊康一, 今井由佳, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年 6 月, 仙台国際センター
251. ウシ顆粒球の表面抗原による分類と亜集団の特性. 野口洋子, 田中沙智, 永井康裕, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年 6 月, 仙台国際センター
252. ウシ乳腺上皮細胞における, TLR2, TLR4 発現とサイトカイン発現. 尾形旦子, 佐々木幸乃, 永井康裕, 田中沙智, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年 6 月, 仙台国際センター
253. ウシの $\gamma\delta$ T細胞サブセットの活性化とサイトカイン発現. 田中沙智, 永井康裕, 野口洋子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年 6 月, 仙台国際センター

254. マウス樹状細胞の初代培養系の確立と細胞株樹立の試み. 井谷 航, 金谷高史, 高倉郁朗, 秋山優子, 渡邊一史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年6月, 仙台国際センター
255. 新規に確立した *in vitro* 分化モデルによるM細胞分化機構の解析. 金谷高史, 高倉郁朗, 井谷 航, 秋山優子, 渡邊一史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年6月, 仙台国際センター
256. 経口摂取プリオン蛋白の取り込みおよび伝播機構の解析. 高倉郁朗, 宮澤光太郎, 金谷高史, 井谷 航, 渡邊康一, 大和田修一, 秋山優子, 渡邊一史, 坂口末廣, 西田教行, 片峰 茂, 山口高弘, 麻生 久. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年6月, 仙台国際センター
257. ブタ筋肉内脂肪前駆細胞株 (PIP) の樹立とオクタン酸およびオレイン酸による脂肪分化誘導機構の解析. 佐野坂真人・鈴木啓一・皆嶋 健・赤坂大輔・渡邊一史・秋山優子・渡邊康一・大和田修一・山口高弘・麻生 久. 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2007年6月, 仙台国際センター
258. 下垂体前葉細胞における Neuropeptide Y の発現と分泌制御. 小笠原英毅, 永井康裕, 麻生 久, 佐藤裕尚, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘. 日本下垂体研究会第22回学術集会. 2007年8月. 湘南国際村センター
259. 下垂体前葉未分化細胞を認識する新規モノクローナル抗体の作製とその特性調査. 永井康裕, 小笠原英毅, 麻生 久, 武田賢和, 田中沙智, 渡邊康一, 山口高弘. 日本下垂体研究会第22回学術集会. 2007年8月. 湘南国際村センター
260. ウシ骨格筋での MSTN による IL-6 の発現制御. 三宅雅人, 林 晋一郎, 渡邊康一, 今井由佳, 岩崎俊輔, 大和田修一・麻生 久, 山口高弘. 第57回東北畜産学会大会. 2007年8月. 山形大学農学部 [優秀発表賞受賞]
261. ウシ顆粒球の表面抗原とサイトカイン発現. 野口洋子, 田中沙智, 永井康裕, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第57回東北畜産学会大会. 2007年8月. 山形大学農学部
262. 経口摂取プリオン蛋白の伝播経路とその機構の解析. 高倉郁朗, 金谷高史, 井谷 航, 渡邊康一, 大和田修一, 秋山優子, 渡邊一史, 山口高弘, 麻生 久. 第57回東北畜産学会大会. 2007年8月. 山形大学農学部
263. 新規に樹立したブタ筋肉内脂肪細胞前駆細胞株 (PIP) におけるオクタン酸およびオレイン酸による脂肪細胞分化誘導機構. 佐野坂真人, 鈴木啓一, 赤坂大輔, 渡邊一史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第12回アディポサイエンス研究会シンポジウム. 2007年8月, 大阪

264. 骨格筋形成過程におけるマイオスタチンのケモカイン発現に対する影響. 岩崎俊輔, 三宅雅人, 林 晋一郎, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第144回日本獣医学会学術集会 (日本獣医解剖学会). 2007年 9月. 酪農学園大学
265. ウシ下垂体前葉の未分化細胞膜抗原の検索. 永井康裕, 小笠原英毅, 麻生 久, 武田賢和, 田中沙智, 山口高弘. 第144回日本獣医学会学術集会 (日本獣医解剖学会), 2007年 9月, 酪農学園大学
266. ウシ骨格筋への持続的低周波電気刺激 (CLFS) における myostatin 発現動態. 今井由佳, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第108回日本畜産学会大会. 2007年 9月. 岡山大学,
267. ウシ末梢血単核球における Myostatin レセプターの発現. 安倍秀樹, 田中沙智, 三宅雅人, 高橋一彰, 野口洋子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第108回日本畜産学会大会. 2007年 9月. 岡山大学
268. マウス樹状細胞の初代培養系の確立と細胞株樹立の試み. 井谷一航, 金谷高史, 高倉郁朗, 秋山優子, 渡邊一史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第108回日本畜産学会大会. 2007年 9月. 岡山大学,
269. ウシの免疫系組織におけるグレリンレセプターの発現. 高橋一彰, 田中沙智, 金谷高史, 安倍秀樹, 野口洋子, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第108回日本畜産学会大会. 2007年 9月. 岡山大学
270. わが国と中国の肉用牛品種の特性比較. 内田一宏, 渡邊康一, 萬田富治, 趙国琦, 孫龍生, 全炳台, 山口高弘. 第108回日本畜産学会大会. 2007年 9月. 岡山大学
271. IL-2 responses of bovine $\gamma\delta$ T cell subsets. 田中沙智, 麻生 久, 山口高弘. 第37回日本免疫学会, 2007年11月
272. Gas7 の微小管重合促進作用. 眞田万里子, 秋山弘匡, 坂本 渉, 山口高弘, 渡邊康一, 伊藤知彦, 内田隆史. 第30回日本分子生物学会年会. 第80回日本生化学会大会 合同大会. 2007年12月.
273. セロトニンの胆汁酸分泌制御作用. 渡邊一史, 赤坂大輔, 小笠原英毅, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 2007年度 Hindgut Club Japan シンポジウム. 2007年12月. ポスター
274. 加工食品に適用可能な食品組織学的解析法の考案. 亀田正典, 大森 明, 渡邊康一, 山口高弘. 全国公衆衛生獣医師協議会・平成20年度調査研究発表会, 2008年 9月, 東京
275. ウシ下垂体前葉細胞における TLRs の発現. 佐藤裕尚, 永井康裕, 尾形旦子, 小笠原英毅, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学,

276. ウシ GH 細胞からのレプチンと NPY の放出. 小笠原英毅, 永井康裕, 麻生久, 高橋辰行, 佐藤裕尚, 渡邊康一, 高橋一彰, 加藤和雄, 大和田修一, 山口高弘. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学 [優秀発表賞受賞]
277. 骨格筋細胞でのケモカインおよびケモカインレセプター発現に対するマイオスタチンの影響. 岩崎俊輔, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
278. 代用乳の増量給与が哺乳子牛の筋線維特性に及ぼす影響. 松崎正敏, 渡邊康一, 山口高弘, 神谷 充, 折戸秀樹, 常石英作, 鈴木裕之. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
279. ウシ WC1⁺ $\gamma\delta$ T 細胞の IL-2 刺激による分化誘導. 田中沙智, 永井康裕, 高橋一彰, 野口洋子, 安部秀樹, 郭 燭洁, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
280. Expression patterns of toll-like receptors mRNA in bovine monocytes. 郭燭洁, 田中沙智, 永井康裕, 高橋一彰, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
281. ウシの白血球・リンパ性器官でのグレリンレセプター (GHS-R1a) の発現. 高橋一彰, 田中沙智, 金谷高史, 小笠原英毅, 安倍秀樹, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
282. セロトニンの胆汁酸排出を介した血漿脂質成分の代謝亢進作用. 渡邊一史, 赤坂大輔, 小笠原英毅, 佐藤 幹, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生久. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
283. セロトニンの抗肥満作用. 赤坂大輔, 渡邊一史, 小笠原英毅, 佐野坂真人, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生久. 第109回日本畜産学会大会. 2008年 3月. 常盤大学
284. 下垂体前葉未分化細胞が持つ免疫制御機能. 永井康裕, 麻生久, 小笠原英毅, 田中沙智, 山口高弘. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2008年 5月, 仙台国際センター
285. 骨格筋における IL-6 発現に対する MSTN の作用. 三宅雅人, 林 晋一郎, 岩崎俊輔, 今井由佳, 安倍秀樹, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年 5月. 仙台国際センター
286. マイオスタチンの骨格筋細胞でのケモカイン発現に対する影響. 岩崎俊輔, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年 5月. 仙台国際センター
287. ウシ $\gamma\delta$ T 細胞サブセットの IL-2 刺激による分化誘導. 田中沙智, 郭 一, 野口洋子, 安倍秀樹, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生久, 山口高弘. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年 5月. 仙台国際センター

288. 新規 *in vitro* モデルで分化したM細胞の性状. 金谷高史, 高倉郁朗, 井谷 航, 渡邊一史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年5月. 仙台国際センター
289. 経口摂取プリオン蛋白の伝播に関わる細胞の同定. 高倉郁朗, 金谷高史, 井谷航, 渡邊一史, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年5月. 仙台国際センター
290. セロトニンの血漿脂質成分および胆汁酸動態に及ぼす影響. 渡邊一史, 赤坂大輔, 小笠原英毅, 金谷高史, 高倉郁郎, 井谷 航, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年5月. 仙台国際センター
291. 暗視野顕微鏡による微小管重合調節剤の探索. 坂本 渉, 奥田 徹, 山下まり, 山口高弘, 渡邊康一, 内田隆史. 第5回東北大学バイオサイエンスシンポジウム. 2008年5月. 仙台国際センター
292. ウシ下垂体前葉細胞での Toll 様受容体の発現. 佐藤裕尚, 永井康裕, 小笠原英毅, 尾形旦子, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第35回日本神経内分泌学会. 第23回日本下垂体研究会合同学術集会. 2008年8月. 東京, 政策研究大学院大学
293. MtT/sd 細胞における Leptin と Neuropeptide Y の放出動態. 小笠原英毅, 永井康裕, 麻生 久, 佐藤裕尚, 渡邊康一, 畔柳 正, 大和田修一, 井上金治, 萬田富治, 山口高弘. 第35回日本神経内分泌学会. 第23回日本下垂体研究会合同学術集会. 2008年8月, 東京, 政策研究大学院大学
294. 黒毛和種体細胞クローン牛の免疫機能の解析. 田中沙智, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 西田一茂, 児玉英樹, 吉川恵郷, 笠井幸治, 山口高弘. 第58回東北畜産学会大会. 2008年8月. 福島
295. TLRs expression pattern in monocytes and monocyte-derived macrophages of calves. 郭 燭洁, 田中沙智, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第58回東北畜産学会大会. 2008年8月. 福島
296. ウシ顆粒球亜型の性状とリンパ組織における分布. 野口洋子, 田中沙智, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第58回東北畜産学会大会. 2008年8月. 福島
297. ウシ神経前駆細胞株の樹立. 井谷一航, 金谷高史, 高倉郁朗, 永井康裕, 渡邊一史, 本堂哲也, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第58回東北畜産学会大会. 2008年8月. 福島
298. セロトニンの抗肥満作用. 赤坂大輔, 渡邊一史, 小笠原英毅, 佐野坂真人, 齋藤和輝, 本堂哲也, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第13回アディポサイエンス研究会, 2008年8月, 大阪

299. セロトニンの血漿脂質成分および胆汁酸生体内サイクルに及ぼす影響. 渡邊一史, 赤坂大輔, 小笠原英毅, 斎藤和輝, 金谷高史, 高倉郁朗, 井谷 航, 本堂哲也, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第13回アディポサイエンス研究会. 2008年8月. ポスター
300. 加工食品に適用可能な食品組織学的解析法の考案. 亀田正典, 大森一明, 渡邊康一, 山口高弘. 全国公衆衛生獣医師協議会. 平成20年度調査研究発表会. 2008年9月.
301. Myostatin のアクチビン様活性に関する研究. 長谷川喜久, 橋本 統, 山口高弘. 第101回日本繁殖生物学会大会. 2008年9月. 九州大学
302. 表面抗原によるウシ末梢血顆粒球のサブタイプの同定. 野口洋子, 田中沙智, 安倍英樹, 鈴木梨絵, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第13回日本乳房炎研究会学術集会. 2008年11月. つくば国際会議場
303. Toll-like receptor 2 (TLR2) を介するウシ乳腺上皮細胞の機能解析. 尾形旦子, 永井康裕, 田中沙智, 佐藤裕尚, 金谷高史, 三宅雅人, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第13回日本乳房炎研究会学術集会. 2008年11月. つくば国際会議場
304. 筋芽細胞における TIEG1 の機能解析. 三宅雅人, 岩崎俊輔, 麻生 久, 山口高弘. 第31回日本分子生物学会年会. 第81回日本生化学会大会合同大会. 2008年12月
305. Invasion and propagation of oral prion protein in its knockout mice. 高倉郁朗, 金谷高史, 坂口末廣, 西田教行, 片峰 茂, 山口高弘, 麻生 久. 第38回日本免疫学会学術集会. 2008年12月
306. Requirement of activated T cell and B cell for M cell differentiation of murine intestinal epithelial cell line (MIE). 金谷高史, 高倉郁朗, 山口高弘, 麻生 久. 第38回日本免疫学会学術集会. 2008年12月.
307. ウシ骨格筋での筋線維型移行過程の解析. 今井由佳, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
308. 草原短角牛由来の筋芽細胞におけるエネルギー代謝系因子の遺伝子発現. 山口高弘, 三宅雅人, 岩崎俊輔, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
309. 放牧など自給粗飼料 100%で生産した肥育牛骨格筋組織の組織化学的解析. 小笠原英毅, 畔柳 正, 渡邊康一, 三宅雅人, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘, 萬田富治. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部

310. ウシ $\gamma\delta$ T細胞サブセットにおけるIL-2シグナル伝達機構. 田中沙智, 野口洋子, 尾形旦子, 安倍秀樹, 鈴木梨絵, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
311. ウシ乳腺上皮細胞におけるToll-like receptor 2の機能. 尾形旦子, 永井康裕, 佐藤裕尚, 田中沙智, 金谷高史, 野口洋子, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
312. 機能特性の異なるウシ顆粒球サブセットの発見. 野口洋子, 田中沙智, 安倍秀樹, 尾形旦子, 鈴木梨絵, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
313. ウシT細胞サブセットにおけるMyostatinの作用. 安倍秀樹, 田中沙智, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
314. 経口摂取プリオン蛋白の腸管からの侵入と体内伝播機構の解析. 高倉郁朗, 金谷高史, 井谷 航, 本堂哲也, 坂口末廣, 西田教之, 片峰 茂, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部 [優秀発表賞受賞]
315. ウシ神経前駆細胞株の樹立とそのプリオン蛋白発現解析. 井谷 航, 金谷高史, 高倉郁朗, 渡邊一史, 永井康裕, 渡邊康一, 大和田修一, 山口高弘, 麻生 久. 第110回日本畜産学会大会. 2009年3月. 日本大学生物資源科学部
316. マウス脳におけるマイオスタチン発現. 岩崎俊輔, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第147回日本獣医学会, 2009年4月, 宇都宮
317. プリオン蛋白ノックアウトマウスにおける経口摂取プリオン蛋白の腸管での取り込みと伝播機構の解析. 麻生 久, 高倉郁朗, 金谷高史, 井谷 航, 坂口末廣, 西田教之, 片峰 茂, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘. 第147回日本獣医学会, 2009年4月, 宇都宮
318. ウシ下垂体前葉細胞におけるToll様受容体の機能解析. 佐藤裕尚, 永井康裕, 小笠原英毅, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘. 第6回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2009年06月, 仙台市国際センター
319. ウシ腸管上皮M細胞におけるサイトケラチン18の発現特異性. 本堂哲也, 金谷高史, 高倉郁朗, 渡邊一史, 齋藤和輝, 高橋 遊, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第6回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2009年6月, 仙台市国際センター
320. 末梢セロトニンの生体内胆汁酸サイクル亢進作用. 渡邊一史, 赤坂大輔, 齋藤和輝, 小笠原英毅, 金谷高史, 三宅雅人, 高倉郁朗, 井谷 航, 本堂哲也, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第6回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2009年6月, 仙台市国際センター

321. 褐色脂肪前駆細胞初代培養系の確立とセロトニン受容体の発現解析. 齋藤和輝, 渡邊一史, 本堂哲也, 高橋 遊, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第6回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2009年6月, 仙台市国際センター
322. 嗅球におけるマイオスタチンの局在と脳内投与の影響. 岩崎俊輔, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第6回東北大学バイオサイエンスシンポジウム, 2009年6月, 仙台市国際センター
323. Peripheral serotonin accelerates lipid metabolism via enhancing of bile acids circulation. 渡邊一史, 赤坂大輔, 齋藤和輝, 小笠原英毅, 金谷高史, 三宅雅人, 本堂哲也, 高橋 遊, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第14回アディポサイエンス研究会, 2009年8月, 大阪府豊中市
324. Functions of serotonin and its specific receptor expressions in brown adipocytes. 齋藤和輝, 渡邊一史, 赤坂大輔, 本堂哲也, 高橋 遊, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第14回アディポサイエンス研究会, 2009年8月, 大阪府豊中市
325. ウシ下垂体プロラクチン細胞における TLR2 の機能解析. 佐藤裕尚, 永井康裕, 小笠原英毅, 尾形旦子, 大和田修一, 渡邊康一, 麻生 久, 山口高弘, 日本下垂体研究会第24回学術集会, 2009年8月, 青森県三沢市
326. 末梢におけるセロトニンの胆汁酸を介した脂質代謝亢進作用. 渡邊一史, 赤坂大輔, 齋藤和輝, 三宅雅人, 本堂哲也, 高橋 遊, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第59回東北畜産学会大会, 2009年9月, 仙台市, 東北大学農学部
327. ウシ腸管パイエル板上皮M細胞におけるサイトケラチン18の特異的発現. 本堂哲也, 金谷高史, 高倉郁郎, 渡邊一史, 齋藤和輝, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第59回東北畜産学会大会, 2009年9月, 仙台市, 東北大学農学部 [優秀発表賞受賞]
328. 褐色脂肪におけるセロトニン受容体発現とその機能解析. 齋藤和輝, 渡邊一史, 赤坂大輔, 本堂哲也, 高橋 遊, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第59回東北畜産学会大会, 2009年9月, 仙台市, 東北大学農学部
329. 肉用牛へのスイートコーン収穫残渣サイレージ給与試験. 渡邊康一, 名谷真琴, 大崎慶也, 佐藤光美, 平田利幸, 佐藤富雄, 山口高弘. 第59回東北畜産学会大会, 2009年9月, 仙台市, 東北大学農学部
330. ウシ腸管上皮M細胞におけるサイトケラチン18の発現特異性の解析. 本堂哲也, 金谷高史, 高倉郁郎, 渡邊一史, 齋藤和輝, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第148回日本獣医学会学術集会 (日本獣医解剖学会), 2009年9月, 鳥取市,

331. 嗅球細胞に対するマイオスタチンの作用. 岩崎俊輔, 三宅雅人, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第148回日本獣医学会学術集会 (日本獣医解剖学会), 2009年 9 月, 鳥取市,
332. 黄色ブドウ球菌接触刺激による培養ウシ乳腺上皮細胞の炎症関連遺伝子の発現解析. 林 智人, 尾澤知美, 菊 佳男, 松原朋子, 高松大輔, 新井敏郎, 麻生久, 山口高弘. 第148回日本獣医学会, 2009年 9 月, 鳥取大学
333. KLF10(TIEG1) による筋芽細胞の分化制御. 三宅雅人, 岩崎俊輔, 高橋秀之, 渡邊康一, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第111回日本畜産学会大会, 沖縄県西原町 琉球大, 2009年 9 月,
334. The expression of serotonin receptor subtypes in differentiating C2C12 myoblasts. 巢 国正, 三宅雅人, 岩崎俊輔, 渡邊一史, 麻生 久, 渡邊康一, 山口高弘. 第111回日本畜産学会大会, 2009年 9 月, 沖縄県西原町 琉球大,
335. 日本短角種牛の育成過程でのT細胞サブセットの出現割合. 名谷真琴, 田中沙智, 渡邊康一, 三宅雅人, 高橋秀之, 佐藤富雄, 佐藤光美, 大崎慶也, 平田利幸, 大和田修一, 麻生 久, 山口高弘. 第111回日本畜産学会大会, 2009年 9 月, 沖縄県西原町 琉球大,
336. 末梢セロトニンの抗肥満作用発現機構の解析. 渡邊一史, 赤坂大輔, 齋藤和輝, 小笠原英毅, 金谷高史, 三宅雅人, 本堂哲也, 高橋 遊, 佐藤 幹, 大和田修一, 渡邊康一, 山口高弘, 麻生 久. 第111回日本畜産学会大会, 2009年 9 月, 沖縄県西原町 琉球大 [優秀発表賞受賞]

V. 総説. 解説記事

1. 枝肉における“むれ豚”(PSE 豚)の判定基準について. 星野忠彦, 新妻沢夫, 勝倉義璋, 山口高弘. 酪農科学の研究, 22, 235-241 (1973).
2. 宮城県におけるむれ豚(PSE)の発生率. 星野忠彦, 勝倉義璋, 山口高弘, 新妻沢夫. 医学と生物, 88, 219-223 (1974).
3. *Streptococcus faecalis* as bacterial immunostimulant. Yamaguchi, T., Hoshino, F., Aso, H., Ebina, T. and Ishida, N. Current Chemotherapy Immunotherapy II, 1175-1177 (1981)
4. 宿主の自然防御機転, インターフェロンと宿主防衛機構. 海老名卓三郎, 山口高弘. 日本臨床, 39, 2291-2294 (1981).
5. 免疫賦活剤によるインターフェロン誘起とNK細胞活性増強作用. 海老名卓三郎, 榮井 明, 斎藤元男, 山口高弘, 麻生 久, 児井 稔, 小林栄一, 林芳郎, 高橋和枝, 阿部信行, 黒田洋子, 荒井澄夫, 若杉 尋, 石田名香男. 医学のあゆみ, 117, 229-234 (1981).

6. OK-432 誘起インターフェロン (IFN) の性質. 斎藤元男, 児井 稔, 山口高弘, 海老名卓三郎, 石田名香男, 川出由己. 医学のあゆみ, 119, 700-702 (1981).
7. Streptococcus faecalis preparation, TH69 が誘起する IFN の特性とその生物活性. 山口高弘, 斎藤元男, 黒田洋子, 海老名卓三郎, 石田名香男, 星野文彦, 川出由己. 癌と化学療法, 9, 1609-1616 (1982).
8. 誘起ゲルマニウム化合物 Ge-132 のマウスにおける IFN 誘起能と NK 細胞, マクロファージ活性化作用. 麻生 久, 鈴木富士夫, 山口高弘, 林 芳郎, 海老名卓三郎, 石田名香男. 癌と化学療法, 9, 1976-1980 (1982).
9. OK-432 の抗腫瘍効果 (1) — OK-432 誘起インターフェロン- γ (IFN γ) の抗腫瘍効果 —. 斎藤元男, 山口高弘, 青沼悦子, 野田哲生, 海老名卓三郎, 石田名香男. 癌と化学療法, 9, 2031-2037 (1982).
10. マクロファージの異物処理作用に対する低線量放射線の影響. 山口高弘, 佐々木武仁, 坂本澄彦. 日本医放会生物部会誌, 1, 52-54 (1988).
11. 豚丹毒の診断法としての免疫組織化学法の実用性. 鈴木将顕, 新木 茂, 山口高弘, 星野忠彦. 宮城獣医師会報, 43, 147-151 (1990).
12. 肉牛の非破壊的品質評価法. 小堤恭平, 山口高弘. 栄養生理研究会報, 35, 155-166 (1991).
13. 乳牛の乳腺免疫の研究 — 乳房炎防除の新方策を見出すために — 熊谷勝男, 浅井健一, 山口高弘. 臨床獣医, 15, 30-35 (1997).
14. 乳牛の泌乳サイクルに伴う乳腺組織構築と乳腺免疫. 山口高弘. 家畜診療, 47, 323-336 (2000).
15. 食肉とその肉製品の食品組織学 (前編) 渡邊康一, 山口高弘 日本食肉研究会 食肉の科学, 45, 151-157 (2004).
16. 乳腺免疫はどこまで分かっているか. 山口高弘. 臨床獣医, 23, 21-26 (2005).
17. 食肉とその肉製品の食品組織学 (後編) 渡邊康一, 山口高弘 日本食肉研究会 食肉の科学, 46, 1-9 (2005).
18. 健康ビーフ生産に適した肉用牛造成の取り組み — 次世代型のダブルマッスル形質をもつ日本短角種 —. 山口高弘, 渡邊康一. 畜産コンサルタント, 512, 19-21 (2007).
19. 中国の黄牛とわが国の日本短角種の特性比較. 内田 宏, 渡邊康一, 萬田富治, 趙 国埼, 孫 龍生, 全 炳台, 山口高弘. 畜産技術, 632, 54-57 (2008).
20. 中国の黄牛と肉用牛生産. 内田 宏, 渡邊康一, 萬田富治, 趙 国埼, 孫 龍生, 全 炳台, 山口高弘. 畜産の研究, 62, 449-460 (2008).

Ⅵ. その他

1. 21世紀を支えるアニマルサイエンスの誕生 ― 日本畜産学会第98回大会記念講演. シンポジウム公開講演会から ―, 佐藤英明, 加藤和雄, 齋藤忠夫, 佐々田比呂志, 佐藤衆介, 豊水正昭, 中井 裕, 西田 朗, 山口高弘, 米山 裕, 日本畜産学会報, 73, J 237-248 (2002)
2. まなびの杜 東北大学 知的探検のススメ Vol.Ⅱ, フォト. ギャラリー, 渡邊康一, 山口高弘. p.13s 14. 東北大学 (2006)
3. 草原短角牛「Healthier Beef」の効率的産肉機構の解明とその事業化展開. 山口高弘. 東北大学 Annual Review. 2008, 12 (2008)
4. 特許公開: 山口高弘, 渡邊康一, 佐藤 幹, 三浦邦明, (東北大学・助川電気工業株式会社), 特定の飼料を給与することを特徴とする家畜の飼育方法, 特開2008-212149 (2008.2)
5. 国産牛肉の生産拡大による自給率向上を目指す新時代. 山口高弘. 畜産技術巻頭言 (提言) p1. 社団法人 畜産技術協会 (2009.7)
6. 全学教育を実践して ―学ぶものと教えるものの共通理解 ― 山口高弘. 曙光. 東北大学全学教育広報 第28号, p8-9. (2009.10)
7. 商標登録: 「草原短角牛」 (2009.10). 日本短角牛から DM 形質牛を造成し, 草原短角牛として肉用牛資源を登録.

